

# フュージョンシス 会計学 e ラーニングシステム 問題と解答 のスクリーンショット

株式会社フュージョンシス

文書バージョン	日付	変更点
ver. 1.0	2009 年 3 月 27 日	作成

## 目次

1.	はじめに	1
2.	簿記原理I	2
2.1	問題 1 問題画面	2
2.2	問題 1 解答画面 1	3
2.3	問題 1 解答画面 2	4
2.4	問題 2 問題画面	5
2.5	問題 2 解答画面 1	6
2.6	問題 2 解答画面 2	7
2.7	問題 2 解答画面 3	8
2.8	問題 3 問題画面	9
2.9	問題 3 解答画面	10
2.10	問題 4 問題画面	11
2.11	問題 4 解答画面	12
2.12	問題 5 問題画面	13
2.13	問題 5 解答画面	14
3.	簿記原理II	15
3.1	問題 1 問題画面	15
3.2	問題 1 解答画面	16
3.3	問題 2 問題画面	17
3.4	問題 2 解答画面	18
3.5	問題 3 問題画面	19
3.6	問題 3 解答画面	20
3.7	問題 4 問題画面	21
3.8	問題 4 解答画面	22
3.9	問題 5 問題画面	23
3.10	問題 5 解答画面 1	24
3.11	問題 5 解答画面 2	25
3.12	問題 5 解答画面 3	26
3.13	問題 6 問題画面	27
3.14	問題 6 解答画面 1	28
3.15	問題 6 解答画面 2	29
3.16	問題 6 解答画面 3	30
3.17	問題 6 解答画面 4	31
4.	原価計算	32
4.1	問題 1 問題画面	32
4.2	問題 1 解答画面	33
4.3	問題 2 問題画面	34
4.4	問題 2 解答画面	35
4.5	問題 3 問題画面	36
4.6	問題 3 解答画面	37
4.7	問題 4 問題画面	38
4.8	問題 4 解答画面	39
4.9	問題 5 問題画面	40
4.10	問題 5 解答画面	41
4.11	問題 6 問題画面	42

4.12	問題 6	解答画面	43
4.13	問題 7	問題画面	44
4.14	問題 7	解答画面 1	45
4.15	問題 7	解答画面 2	46
4.16	問題 8	問題画面	47
4.17	問題 8	解答画面	48
5.	制度会計		49
5.1	問題 1	問題画面	49
5.2	問題 1	解答画面	50
5.3	問題 2	問題画面	51
5.4	問題 2	解答画面	52
5.5	問題 3	問題画面	53
5.6	問題 3	解答画面	54
5.7	問題 4	問題画面	55
5.8	問題 4	解答画面	56
5.9	問題 5	問題画面	57
5.10	問題 5	解答画面	58
5.11	問題 6	問題画面	59
5.12	問題 6	解答画面	60
5.13	問題 7	問題画面	61
5.14	問題 7	解答画面	62
5.15	問題 8	問題画面	63
5.16	問題 8	解答画面	64
5.17	問題 9	問題画面	65
5.18	問題 9	解答画面	66
5.19	問題 10	問題画面	67
5.20	問題 10	解答画面	68
5.21	問題 11	問題画面	69
5.22	問題 11	解答画面	70
5.23	問題 12	問題画面	71
5.24	問題 12	解答画面	72
6.	管理会計		73
6.1	問題 1	問題画面	73
6.2	問題 1	解答画面	74
6.3	問題 2	問題画面	75
6.4	問題 2	解答画面	76
6.5	問題 3	問題画面	77
6.6	問題 3	解答画面	78
6.7	問題 4	問題画面	79
6.8	問題 4	解答画面	80
6.9	問題 5	問題画面	81
6.10	問題 5	解答画面	82
6.11	問題 6	問題画面	83
6.12	問題 6	解答画面	83



株式会社フュージョンシス  
〒108-0023 東京都港区芝浦 3-11-1  
キョウワクリエイト第一ビル 3F  
<http://fusionsys.com/> | [info@fusionsys.com](mailto:info@fusionsys.com)

## 1. はじめに

簿記原理 I、簿記原理 II、原価計算、制度会計、管理会計のスクリーンショットです。解答画面において灰色の部分は、文字入力可能な部分です。

簿記は、実際に横浜国立大学、弘前大学で使われている問題と同じなので、解答のスクリーンショットは掲載しておりません。

原価計算、制度会計、管理会計は、乱数によって問題中の数字を生成しています。従って学生ごとに数字が異なり、解答画面を掲載しても差し支えがありませんので、解答画面のスクリーンショットを掲載しておりません。

## 2. 簿記原理 I

### 2.1 問題 1 問題画面



簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student

簿記・原価計算・制... 簿記・原価計算\*... x

簿記原理 I

問題 1 (1/5)

表示画面の選択  
 問題画面1. 解答画面1. 解答画面2.

問題番号の選択  
 問題1 問題2 問題3 問題4 問題5

ログアウト

問題 横浜写真店の4月中の取引は次の通りである。

4月1日 現金¥10,000を出資(元入れ)して、横浜写真店を開業した。  
 2日 現像用の機材¥7,000を購入し、代金は現金で支払った。  
 4日 取引銀行より現金¥5,000を借り入れ、利息¥300を差し引かれた手取金は現金で受け取った。  
 10日 写真撮影を行い、撮影料¥3,000は現金で受け取った。  
 15日 光熱費¥2,500を現金で支払った。  
 18日 写真撮影を行い、撮影料¥6,000は掛とした。  
 25日 従業員の給料¥3,500を現金で支払った。  
 30日 借入金のうち¥2,000を現金で返済した。  
 //日 売掛金のうち¥4,000を現金で受け取った。

設問1 上記の取引の結合関係を、解答例に従って示さない。

解答例 

日付	借方記入要素	貸方記入要素
5/8	資産の増加	資産の減少

設問2 上記の取引を仕訳帳に仕訳し、元帳に転記しない。

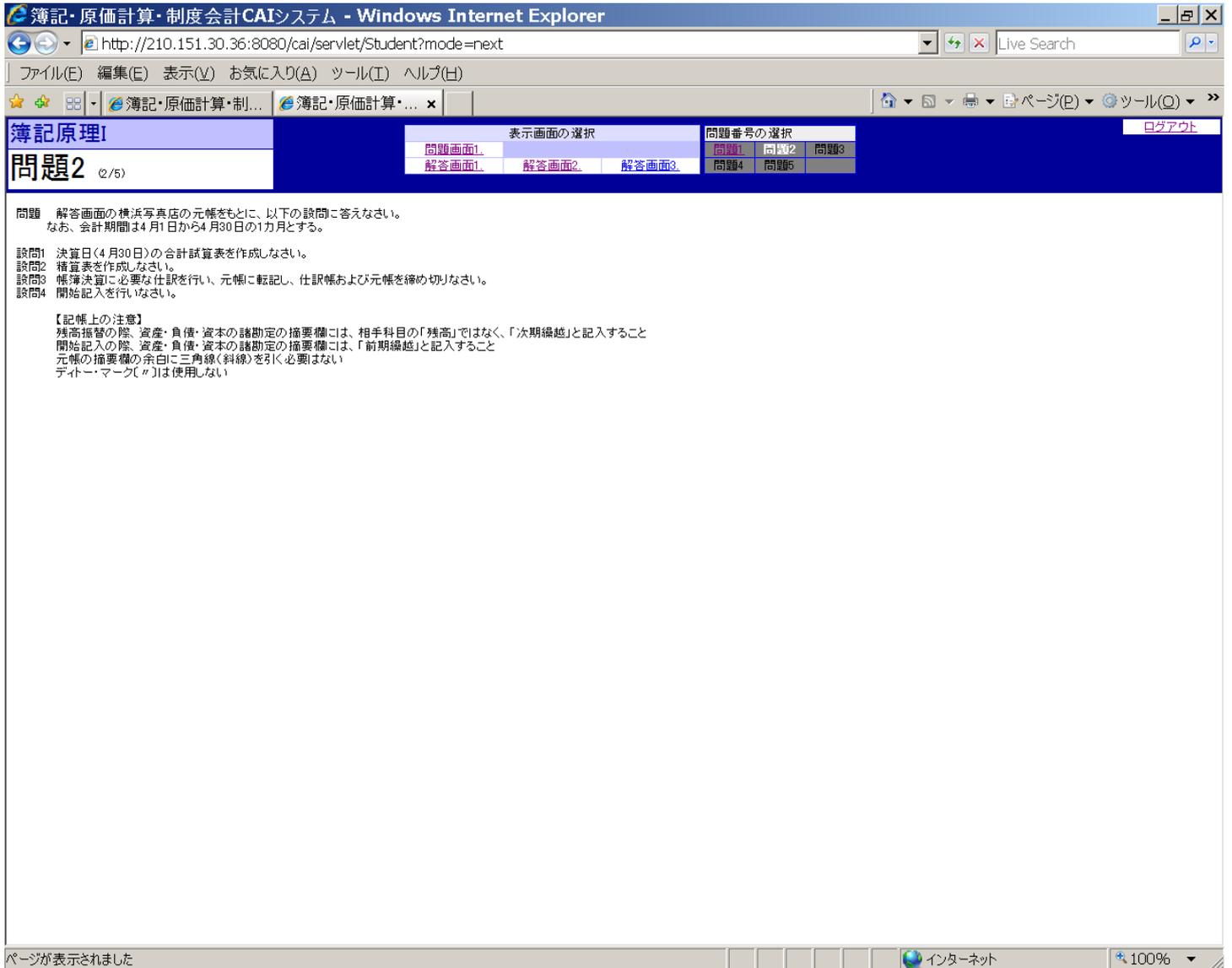
【記帳上の注意】  
 仕訳帳および元帳の丁数欄については解答画面を参照すること  
 仕訳帳の小書きは不要である  
 デイト・マーク〔//〕は使用しない

インターネット 100%





## 2.4 問題 2 問題画面



The screenshot shows a web browser window titled "簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer". The address bar shows the URL "http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next". The browser interface includes a menu bar with options like "ファイル(E)", "編集(E)", "表示(V)", "お気に入り(A)", "ツール(T)", and "ヘルプ(H)". The main content area is titled "簿記原理I" and "問題2 (2/5)".

Navigation tabs are visible at the top of the content area:

表示画面の選択			問題番号の選択		
問題画面1.			問題1	問題2	問題3
解答画面1.	解答画面2.	解答画面3.	問題4	問題5	

The main text area contains the following information:

**問題** 解答画面の横書き真店の元帳をもとに、以下の設問に答えなさい。  
 なお、会計期間は4月1日から4月30日の1カ月とする。

設問1 決算日(4月30日)の合計試算表を作成しなさい。  
 設問2 精算表を作成しなさい。  
 設問3 帳簿決算に必要な仕訳を行い、元帳に転記し、仕訳帳および元帳を締め切りなさい。  
 設問4 開始記入を行いなさい。

**【記帳上の注意】**  
 残高振替の際、資産・負債・資本の諸勘定の摘要欄には、相手科目の「残高」ではなく、「次期繰越」と記入すること  
 開始記入の際、資産・負債・資本の諸勘定の摘要欄には、「前期繰越」と記入すること  
 元帳の摘要欄の余白に三角線(斜線)を引く必要はない  
 デイターマーク〔 〕は使用しない

The status bar at the bottom of the browser window shows "ページが表示されました" and "インターネット" with a zoom level of "100%".

2.5 問題 2 解答画面 1

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student

簿記・原価計算・制度会...

簿記原理1

問題2 (2/5)

表示画面の選択

問題番号の選択

問題画面1. 問題画面2. 問題画面3.

問題1 問題2 問題3 問題4 問題5

ログアウト

解答する

解答  
設問1

合計試算表  
平成×年4月30日

勘定科目	元丁	借方	貸方

設問2

精算表  
平成×年4月30日

勘定科目	元丁	残高試算表		損益計算書		貸借対照表	
		借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方

完了

## 2.6 問題 2 解答画面 2

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student

簿記・原価計算・制度会...

簿記原理1

問題2 (2/5)

表示画面の選択

問題番号の選択

問題画面1. 問題画面2. 問題画面3.

問題1 問題2 問題3

問題4 問題5

ログアウト

解答する

解答  
 設問3・設問4 仕訳帳(小書不要)

日付	摘要	元丁	借方	貸方
4 30	本日決算			
30				
30				
30				
30				
5 1	諸口 諸口			

完了

2.7 問題 2 解答画面 3

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student

簿記・原価計算・制度会...

簿記原理1

問題2 (2/5)

表示画面の選択

問題番号の選択

ログアウト

問題画面1. 問題画面2. 問題画面3. 問題4 問題5

解答する

解答  
 設問3・設問4

日付	摘要	仕丁	借方	日付	摘要	仕丁	貸方
4	1 資本金	1	10,000	4	2 機械	1	7,000
4	借入金	1	4,700	15	光熱費	1	2,500
10	撮影料収入	1	3,000	25	給料	1	3,500
30	売掛金	1	4,000	30	借入金	1	2,000

日付	摘要	仕丁	借方	日付	
4	18 撮影料収入	1	6,000	4	3

日付	摘要	仕丁	借方	日付	摘要	仕丁	貸方
4	2 現金	1	7,000				

日付	摘要	仕丁	借方	日付	
4	30 現金	1	2,000	4	

日付	摘要	仕丁	借方	日付	摘要	仕丁	貸方
4	1 現金	1	10,000				

日付	摘要	仕丁	借方	日付	
4	1			4	1

完了

## 2.8 問題 3 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

簿記・原価計算・制... 簿記・原価計算・... x

表示画面の選択  
 問題画面1. 解答画面1.  
 問題番号の選択  
 問題1 問題2 問題3  
 問題4 問題5

簿記原理I  
 問題3 (3/5)

問題 次の仕入帳、売上帳の記入内容に基づき、以下の設問に答えなさい。  
 なお、会計期間は4月1日から4月30日である。

設問1 商品Aについては移動平均法、商品Bについては先入先出法により商品有高帳に記入し、締め切りなさい。  
 設問2 仕入帳・売上帳、商品有高帳の記入内容に基づき、(1)売上原価対立法と(2)三分法による仕訳を示しなさい。  
 なお、三分法の場合は決算整理仕訳も示すこと。

仕入帳				売上帳			
日付	摘要	内訳	金額	日付	摘要	内訳	金額
4 5	横浜商店 掛			4 12	品川商店 掛		
	商品A 15個 @¥120	1,800			商品A 15個 @¥200	3,000	
	商品B 150個 @¥60	9,000	10,800		商品B 140個 @¥80	11,200	14,200
15	川崎商店 掛			22	新宿商店 掛		
	商品A 20個 @¥130		2,600		商品B 160個 @¥80		12,800
20	鶴見商店 掛			26	渋谷商店 現金		
	商品B 120個 @¥61		7,320		商品A 18個 @¥200		3,600

ページが表示されました

インターネット 100%

## 2.9 問題 3 解答画面

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student

簿記・原価計算・制度会...

簿記原理I

問題3 (3/5)

表示画面の選択: 問題画面1, 解答画面1

問題番号の選択: 問題1, 問題2, 問題3, 問題4, 問題5

ログアウト

解答する

解答

設問1 商品有高帳

移動平均法

商品A

日付	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
4	1 前期繰越	5	100	500				5	100	500

設問2

(1)売上原価対立法

日付	借方科目	金
4/5		
12		
"		
15		
20		
22		
"		
26		
"		

(2)三分法

日付	借方科目	金
4/5		
12		
15		
20		
22		

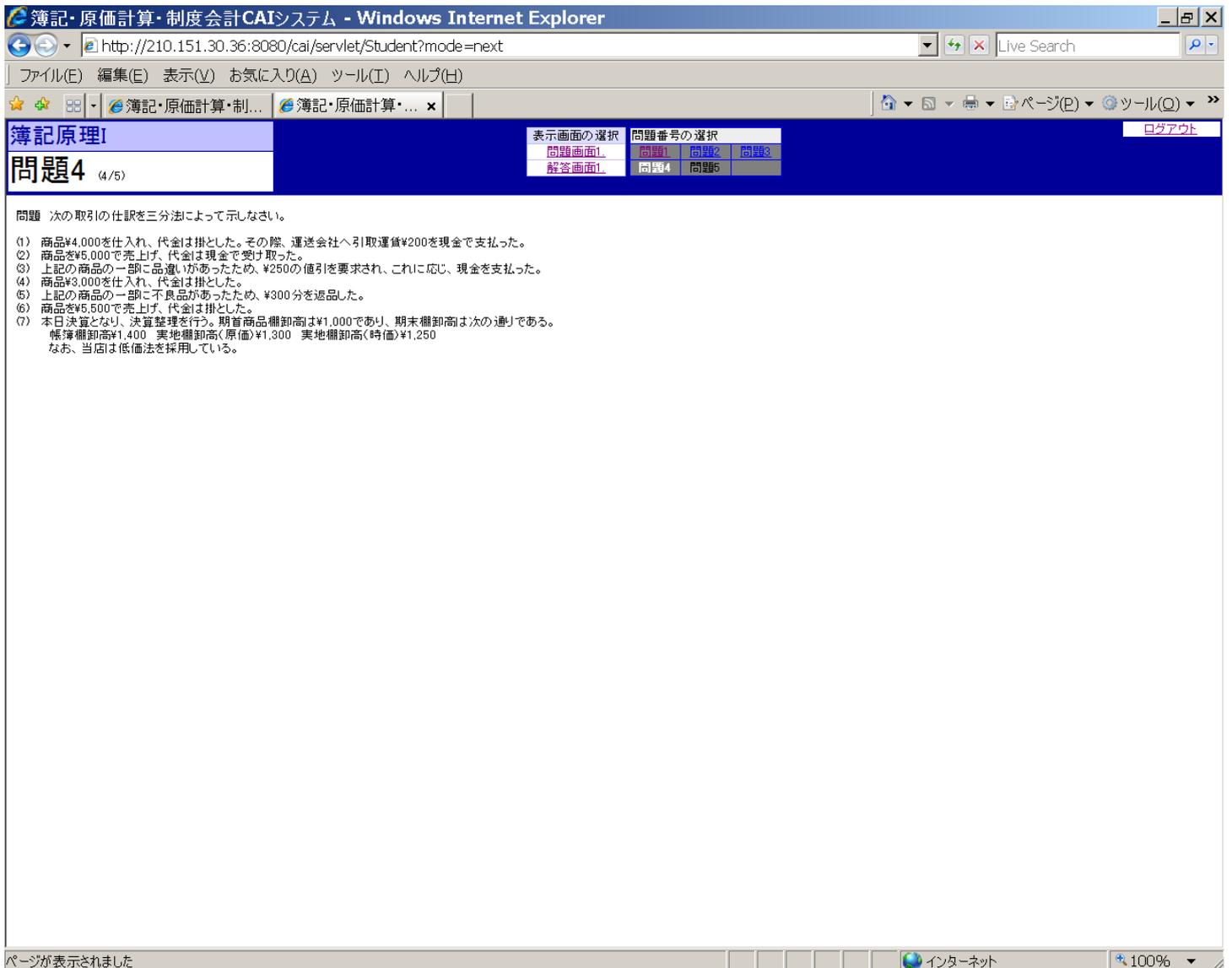
先入先出法

商品B

日付	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
4	1 前期繰越	50	58	2,900				50	58	2,900

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=answer&sheet=1

## 2.10 問題 4 問題画面



簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

簿記・原価計算・制... 簿記・原価計算・... x

簿記原理I

問題4 (4/5)

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題2 問題3 問題4 問題5

解答画面1

ログアウト

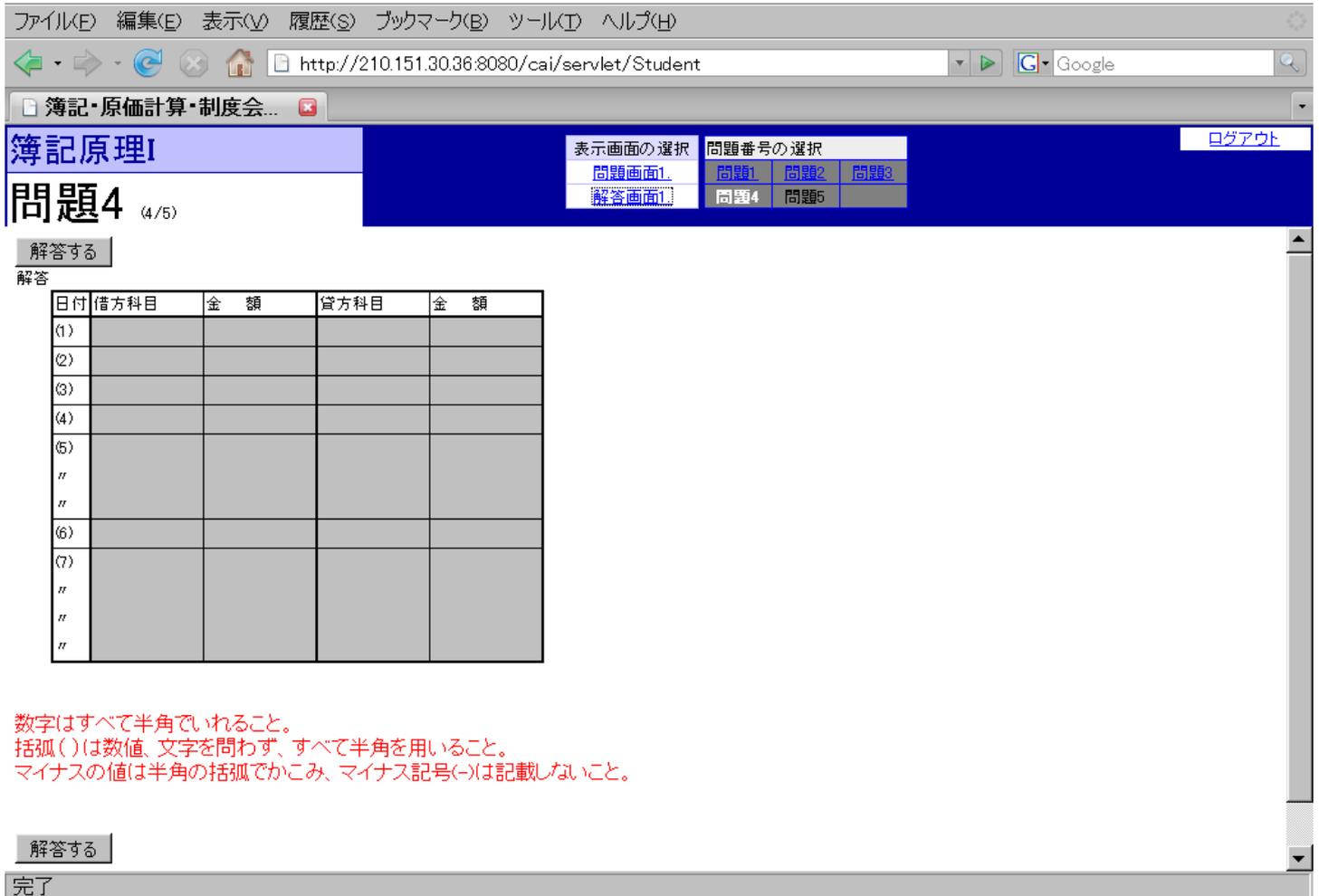
問題 次の取引の仕訳を三分法によって示しなさい。

(1) 商品¥4,000を仕入れ、代金は掛とした。その際、運送会社へ引取運賃¥200を現金で支払った。  
 (2) 商品を¥5,000で売上げ、代金は現金で受け取った。  
 (3) 上記の商品の一部に品違いがあったため、¥250の値引を要求され、これに応じ、現金を支払った。  
 (4) 商品¥3,000を仕入れ、代金は掛とした。  
 (5) 上記の商品の一部に不良品があったため、¥300分を返品した。  
 (6) 商品を¥5,500で売上げ、代金は掛とした。  
 (7) 本日決算となり、決算整理を行う。期首商品棚卸高が¥1,000であり、期末棚卸高は次の通りである。  
 帳簿棚卸高¥1,400 実地棚卸高(原価)¥1,300 実地棚卸高(時価)¥1,250  
 なお、当店は低価法を採用している。

ページが表示されました

インターネット 100%

## 2.11 問題 4 解答画面



ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student

簿記・原価計算・制度会...

簿記原理I

問題4 (4/5)

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題1 問題2 問題3

問題画面2 問題4 問題5

ログアウト

解答する

解答

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
"				
"				
(6)				
(7)				
"				
"				
"				

数字はすべて半角で入れること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

完了

## 2.12 問題 5 問題画面



簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

簿記・原価計算・制... 簿記・原価計算・... x

簿記原理I

問題5 (5/5)

表示画面の選択	問題番号の選択
問題画面1	問題1
解答画面1	問題2
	問題3
	問題4
	問題5

問題 次の取引の仕訳を示しなさい。なお、商品売買取引の処理は三分法、当座預金取引の処理は二勘定制による。

- 青森商店から商品¥30,000を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。  
 なお、当座預金残高は¥28,000であったが、借越限度額¥50,000の当座借越契約を結んでいる。
- 当店で定額資金前渡制度を採用しているが、本日、用度係(支払担当者)から次のような報告があった。  
 交通費 ¥18,000 光熱費 ¥15,000 通信費 ¥9,200 消耗品費 ¥3,700
- 宮城商店へ商品¥40,000を売上げ、代金は現金で受け取り、直ちに当座預金に預け入れた。  
 なお、当座借越勘定の残高が¥28,000であった。
- かねて現金過不足勘定で処理しておいた現金過剰額¥1,800の原因を調査した結果、  
 受取利息¥6,400を¥4,600と誤記入していたことが判明した。
- 本日、決算となったが、かねて現金過不足勘定で処理しておいた現金不足額¥2,400の原因は不明であった。

ページが表示されました

インターネット 100%

## 2.13 問題 5 解答画面



解答する

解答

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

<http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=answer&sheet=1>

### 3. 簿記原理II

#### 3.1 問題 1 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait

簿記・原価計算・制... 簿記・原価計算...

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1. 問題1 問題2 問題3  
 解答画面1. 問題4 問題5 問題6

ログアウト

## 簿記原理II

### 問題1 (1/6)

問題次の受取手形記入帳、支払手形記入帳の記入内容、および取引に基づいて、5月に行うべき仕訳を示さない。

【備考】  
 (1)手形代金はすべて当座預金において決済し、当座預金取引については一勘定制によって記帳する。  
 (2)手形債権の譲渡に係る偶発債務については、評価勘定(裏書手形勘定・割引手形勘定)によって記帳すること。

受取手形記入帳

日付 月日	摘要	金額	手形 種類	手形 番号	支払人	振出人 または 裏書人	振出日 月日	満期日 月日	支払場所	期末 月日	摘要
5/1	売掛金回収	15,000	約手	10	青森商店	青森商店	5/1	5/15	B銀行X支店	5/15	取立済
3	売上代金	20,000	為手	50	岩手商店	高城商店	5/3	6/3	C銀行Y支店	5/27	割引(割引料¥100)
7	売掛金回収	25,000	為手	15	秋田商店	当店	5/7	6/5	D銀行Z支店	5/25	裏書(買掛金支払として)

支払手形記入帳

日付 月日	摘要	金額	手形 種類	手形 番号	受取人	振出人	振出日 月日	満期日 月日	支払場所	期末 月日	摘要
5/2	買掛金支払	12,000	約手	65	山形商店	当店	5/2	5/22	A銀行本店	5/22	支払済
6	仕入代金	18,000	為手	70	福島商店	茨城商店	5/6	6/5	A銀行本店		

取引

5/4 栃木商店から商品¥30,000を仕入れ、代金として、かねて売掛金のある得意先群馬商店宛(引受済)の  
 為替手形¥20,000を振出し、栃木商店に交付し、残額は現金で支払った。

5/8 埼玉商店に対する売掛金¥10,000を現金割引の期限内に回収し、  
 5%の割引料を差し引いた手取金は現金で受け取り、直ちに当座預金に預け入れた。

5/20 先月、受け取っていた千葉商店振出の約束手形¥40,000が不渡りとなったため、同店に遡求した。

5/30 商品¥14,800を売上げ、代金として提携している埼玉商店発行の商品券¥15,000を受け取り、釣銭¥200は現金で支払った。

ページが表示されました

インターネット 100%

### 3.2 問題 1 解答画面



ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・制度会...

簿記原理II

問題1 (1/6)

表示画面の選択: 問題画面1, 解答画面1

問題番号の選択: 問題1, 問題2, 問題3, 問題4, 問題5, 問題6

ログアウト

解答する

解答

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
5/1				
5/2				
5/3				
5/4				
5/6				
5/7				
5/8				
5/15				
5/16				
5/20				
5/22				
5/25				
5/30				

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧()は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

### 3.3 問題 2 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

簿記・原価計算・制... 簿記・原価計算・... x

簿記原理II

問題2 (2/6)

表示画面の選択  
 問題画面1. 問題2 問題3  
 解答画面1. 問題4 問題5 問題6

問題 次の取引の仕訳を示しなさい。なお、当座預金取引の処理は一勘定制による。

(1) 事務机・椅子等の一式¥400,000を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。  
 (2) \*4年12月31日、本日決算(会計期間1年)となり、以下の建物および備品について減価償却を行った。

	取得年月日	取得原価	耐用年数	残存価額	償却方法	記帳方法
建物	*3年1月1日	¥4,000,000	50年	取得原価の10%	定率法(償却率4.5%)	間接法
備品	*2年4月1日	¥500,000	5年	取得原価の10%	定額法	直接法

(3) 第8期の期首に、不要となった車両運搬具(取得原価¥1,800,000 減価償却累計額¥1,080,000)を¥740,000で売却し、代金は現金で受け取り、直ちに当座預金に預け入れた(記帳方法は間接法による)。  
 (4) 建設会社に譲け負わせていた店舗(請負価額¥7,000,000)の建築が完成して引き渡しを受け、前払額¥2,800,000を差し引いた残金を小切手を振り出して支払った。  
 (5) 建物の修繕および改築を行い、代金¥800,000を小切手を振り出して支払った。  
 このうち改築に対する支出額は、¥500,000と計算された。

ページが表示されました

インターネット 100%

### 3.4 問題 2 解答画面

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student

簿記・原価計算・制度会...

簿記原理II

問題2 (2/6)

表示画面の選択: 問題画面1, 解答画面1

問題番号の選択: 問題1, 問題2, 問題3, 問題4, 問題5, 問題6

ログアウト

解答する

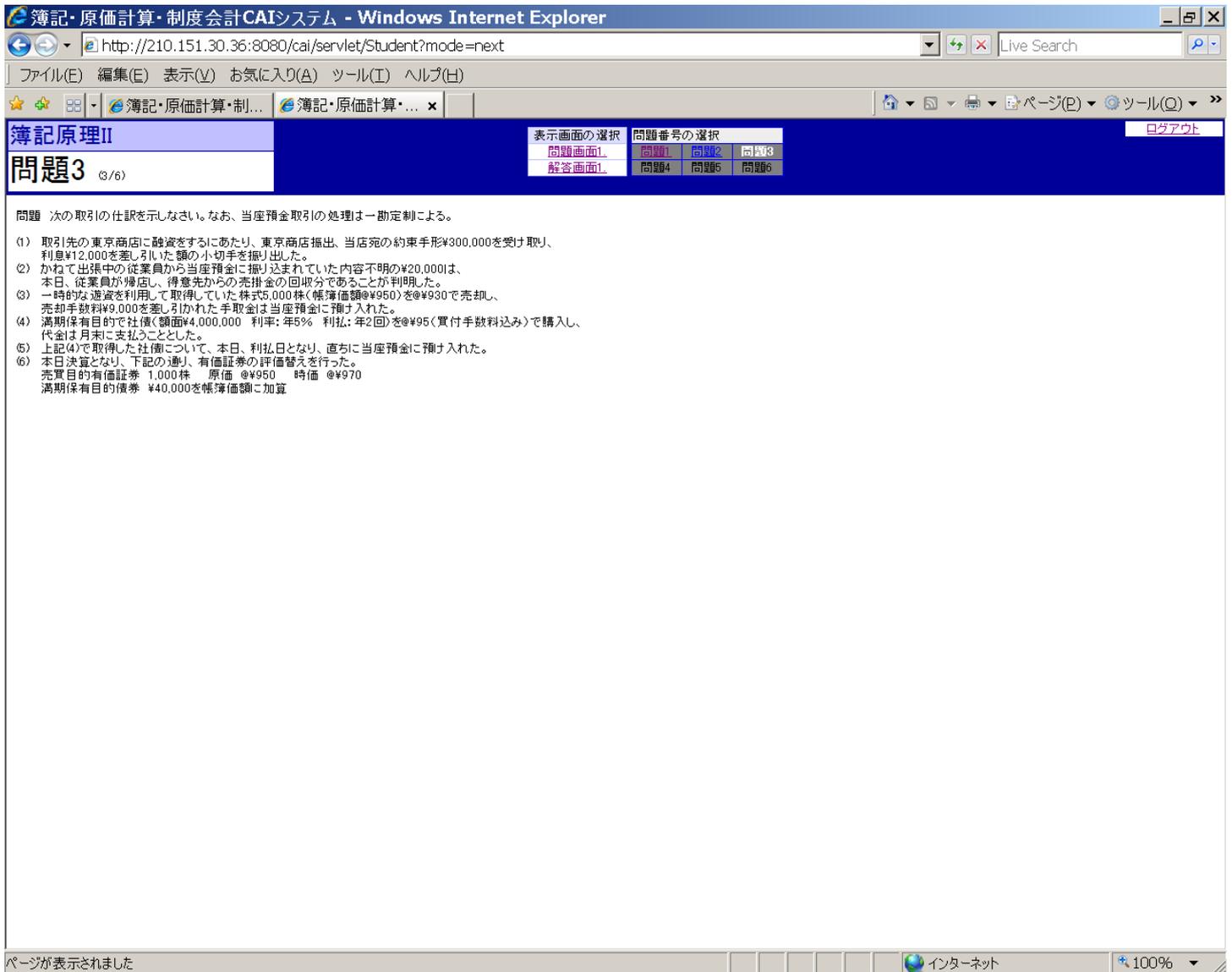
解答

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

### 3.5 問題 3 問題画面



簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

簿記・原価計算・制... 簿記・原価計算・...

簿記原理II

問題3 (3/6)

表示画面の選択	問題番号の選択		
問題画面1	問題1	問題2	問題3
解答画面1	問題4	問題5	問題6

ログアウト

問題 次の取引の仕訳を示しなさい。なお、当座預金取引の処理は一勘定制による。

- 取引先の東京商店に融資をするにあたり、東京商店振出、当座宛の約束手形¥300,000を受け取り、利息¥12,000を差し引いた額の小切手を振り出した。
- かねて出張中の従業員から当座預金に振り込まれていた内容不明の¥20,000は、本日、従業員が帰店し、得意先からの売掛金の回収分であることが判明した。
- 一時的な遊資を利用して取得していた株式5,000株(帳簿価額¥950)を¥930で売却し、売却手数料¥9,000を差し引かれた手取金は当座預金に預け入れた。
- 満期保有目的で社債(額面¥4,000,000 利率:年5% 利払:年2回)を¥95(買付手数料込み)で購入し、代金は月末に支払うこととした。
- 上記(4)で取得した社債について、本日、利払日となり、直ちに当座預金に預け入れた。
- 本日決算となり、下記の通り、有価証券の評価替えを行った。  
 売買目的有価証券 1,000株 原価 @¥950 時価 @¥970  
 満期保有目的債券 ¥40,000を帳簿価額に加算

ページが表示されました

インターネット 100%

### 3.6 問題 3 解答画面



解答する

解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

### 3.7 問題 4 問題画面



簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

簿記原理II

問題4 (4/6)

表示画面の選択	問題番号の選択
問題画面1	問題1
解答画面1	問題2
	問題3
	問題4
	問題5
	問題6

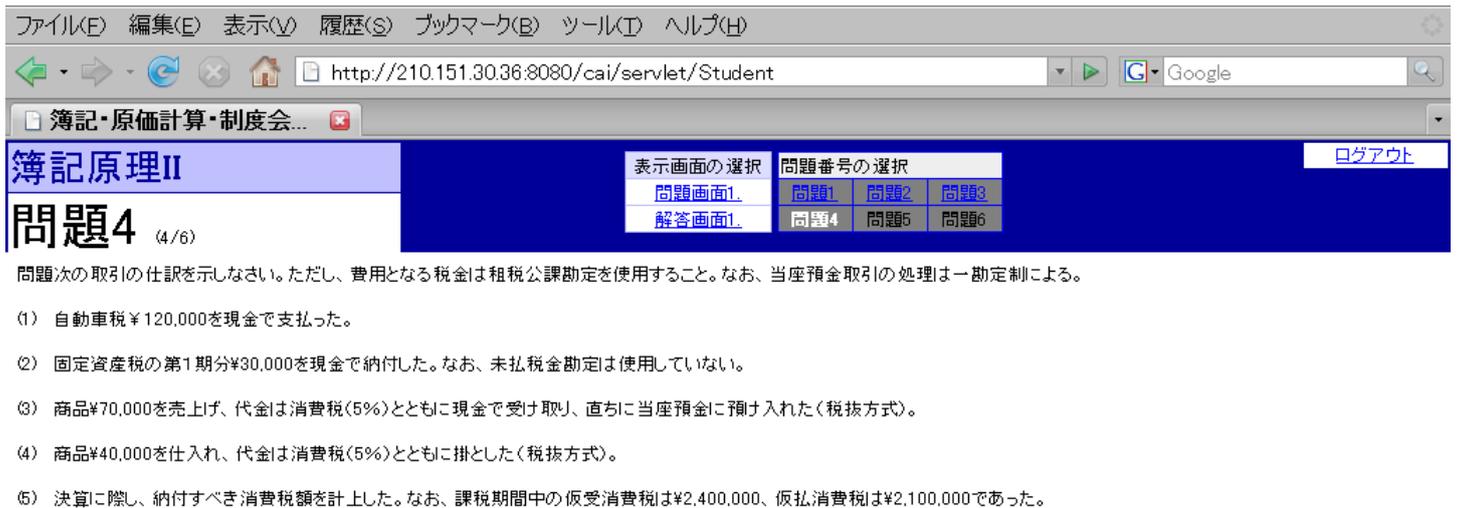
問題次の取引の仕訳を示さない。ただし、費用となる税金は租税公課勘定を使用すること。なお、当座預金取引の処理は一勘定制による。

- 自動車税 ¥120,000 を現金で支払った。
- 固定資産税の第1期分 ¥30,000 を現金で納付した。なお、未払税金勘定は使用していない。
- 商品 ¥70,000 を売上げ、代金は消費税(5%)とともに現金で受け取り、直ちに当座預金に預け入れた(税抜方式)。
- 商品 ¥40,000 を仕入れ、代金は消費税(5%)とともに掛とした(税抜方式)。
- 決算に際し、納付すべき消費税額を計上した。なお、課税期間中の仮受消費税は ¥2,400,000、仮払消費税は ¥2,100,000 であった。

ページが表示されました

インターネット 100%

### 3.8 問題 4 解答画面



The screenshot shows a web browser window with the following elements:

- Browser menu: ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)
- Address bar: <http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student>
- Search bar: Google
- Page title: 簿記・原価計算・制度会...
- Navigation tabs:
 

表示画面の選択	問題番号の選択		
<a href="#">問題画面1.</a>	<a href="#">問題1</a>	<a href="#">問題2</a>	<a href="#">問題3</a>
<a href="#">解答画面1.</a>	<a href="#">問題4</a>	<a href="#">問題5</a>	<a href="#">問題6</a>
- Page content:
 

**簿記原理II**

**問題4** (4/6)

問題次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、費用となる税金は租税公課勘定を使用すること。なお、当座預金取引の処理は一勘定制による。

  - 自動車税 ¥120,000 を現金で支払った。
  - 固定資産税の第1期分 ¥30,000 を現金で納付した。なお、未払税金勘定は使用していない。
  - 商品 ¥70,000 を売上げ、代金は消費税(5%)とともに現金で受け取り、直ちに当座預金に預け入れた(税抜方式)。
  - 商品 ¥40,000 を仕入れ、代金は消費税(5%)とともに掛とした(税抜方式)。
  - 決算に際し、納付すべき消費税額を計上した。なお、課税期間中の仮受消費税は ¥2,400,000、仮払消費税は ¥2,100,000 であった。
- Logout button: ログアウト

### 3.9 問題 5 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

簿記原理II

問題5 (5/6)

表示画面の選択

問題番号の選択

問題画面1 解答画面1 問題画面2 解答画面2 問題画面3 解答画面3

問題

次の決算整理前残高試算表および決算整理事項をもとに、以下の設問に答えなさい。  
 ただし、会計期間は×1年1月1日から×1年12月31日までの1年である。

決算整理前残高試算表		×1年12月31日	
勘定科目	借方	貸方	
小口現金	50		
当座	200		
受取手形	140		
売掛金	160		
貸倒引当金		10	
有価証券	140		
繰越商品	180		
建物	1,000		
建物減価償却累計額		90	
備品	800		
備品減価償却累計額		200	
支払手形		120	
買掛金		180	
資本金		1,600	
売上		2,400	
仕入	950		
給料	680		
支払家賃	110		
光熱費	123		
消耗品費	60		
貸倒損失	7		
	4,600	4,600	

決算整理事項

- 期末商品帳簿欄卸高は¥160(20個×¥8)であった。
- 期末商品の実地欄卸数量は18個であった。
- 期末商品の時価は¥7であった(低価法を採用)。
- 受取手形と売掛金の期末残高に対して、3%の貸倒れを見積もる(洗替法による)。
- 有価証券の時価が¥150であったので、評価替えを行う。
- 固定資産の減価償却を行う。  
 建物 償却方法:定額法 耐用年数:50年 残存価額:取得原価の10%  
 備品 償却方法:定率法(償却率:年25%) 耐用年数:8年 残存価額:取得原価の10%
- 消耗品の未消費分が¥5ある。
- 家賃の未払高が¥10ある。

設問1 精算手続および決算整理手続の仕訳を示しなさい。  
 設問2 損益勘定と残高勘定を完成しなさい。  
 設問3 再振替手続の仕訳を示しなさい。  
 設問4 8欄精算表を作成しなさい。

ページが表示されました

インターネット 100%

3.10 問題 5 解答画面 1

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・制度会...

簿記原理II

問題5 (5/6)

表示画面の選択

問題画面1. 解答画面1. 解答画面2. 解答画面3.

問題番号の選択

問題1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6

ログアウト

解答する

解答

設問1

精算手続	日付	借方科目	金額	貸方科目	金額

決算整理	日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	"				
(2)	"				
(3)	"				
(4)	"				
(5)	"				
(6)	"				
(7)	"				
(8)	"				

設問3

再振替	日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
	"				

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。



3.12 問題 5 解答画面 3

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・制度会...

簿記原理II

問題5 (5/6)

表示画面の選択

問題番号の選択

ログアウト

問題画面1. 問題画面2. 問題画面3.

問題1 問題2 問題3

問題4 問題5 問題6

解答する

解答

設問4

精算表

勘定科目	残高試算表		精算・整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
小口現金	10							
当座	255							
受取手形	280							
売掛金	220							
貸倒引当金		15						
有価証券	160							
繰越商品	340							
車両	2,000							
車両減価償却累計額		500						
備品	1,500							
備品減価償却累計額		810						
支払手形	130							
買掛金	185							
借入金		500						
資本金		2,000						
売上		3,800						
仕入	1,700							
給料	640							

### 3.13 問題 6 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

簿記・原価計算・制... 簿記・原価計算・...

簿記原理II

問題6 (6/6)

表示画面の選択

問題番号の選択

ログアウト

問題 横浜商店では、特殊仕訳帳として、当座勘定出納帳、仕入帳、売上帳、受取手形記入帳、支払手形記入帳、補助元帳として、売掛金元帳、買掛金元帳を使用している。同商店の1月中の取引は以下の通りである。

取引

- 現金¥1,000を元入れて開業し、直ちに当座預金に預け入れた。開業(開始)仕訳は普通仕訳帳に行うこと。
- A銀行より現金¥400を借り入れ、直ちに当座預金に預け入れた。
- 商品¥600を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。
- 事務用の備品¥650を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。
- 商品を¥300で売上げ、代金は小切手で受け取り、直ちに当座預金に預け入れた。
- 商品¥250を仕入れ、代金として約束手形を振り出した。
- W商店へ商品を¥700で売上げ、代金は掛とした。(特殊仕訳帳の相手勘定欄には人名勘定を使用すること)
- W商店へ売上げた商品の一部に品違いがあり、¥100が返品され、売掛金を減額した。(特殊仕訳帳の相手勘定欄には人名勘定を使用すること)
- Z商店から商品¥400を仕入れ、代金は掛とした。(特殊仕訳帳の相手勘定欄には人名勘定を使用すること)
- 商品を¥500で売上げ、代金として当座宛の約束手形を受け取った。
- Y商店から商品¥300を仕入れ、代金は掛とした。(特殊仕訳帳の相手勘定欄には人名勘定を使用すること)
- Y商店から仕入れた商品の一部に不良品があり、¥50の値引を要求し、承諾されたため、買掛金を減額した。(特殊仕訳帳の相手勘定欄には人名勘定を使用すること)
- W商店に対する買掛金¥600を現金で回収し、直ちに当座預金に預け入れた。(特殊仕訳帳の相手勘定欄には人名勘定を使用すること)
- X商店へ商品を¥650で売上げ、代金は掛とした。(特殊仕訳帳の相手勘定欄には人名勘定を使用すること)
- Y商店に対する買掛金のうち¥200について、Y商店振出、B商店受取、当座宛の為替手形の提示があり、これを引き受けた。(特殊仕訳帳の相手勘定欄には人名勘定を使用すること)
- 当座振出の約束手形¥250が当座預金から支払われた。
- X商店に対する売掛金のうち¥400について、X商店振出、C商店宛(引受済)の為替手形を受け取った。(特殊仕訳帳の相手勘定欄には人名勘定を使用すること)
- 18日に受け取った約束手形¥500を取引銀行で割引引き、割引料¥50を差し引かれた手取金は当座預金に預け入れた。(取引の全貌を普通仕訳帳に示すこと)
- Z商店に対する買掛金¥400を小切手を振り出して支払った。(特殊仕訳帳の相手勘定欄には人名勘定を使用すること)
- 電話料金(通信費)¥150が当座預金から引き落とされた。

以上の取引に基づき、解答画面の各種の仕訳帳の記入を完成させ、元帳に転記しなさい。  
 合計仕訳ならびに二重仕訳金額削除の手続も行うこと。

【記帳上の注意】  
 特殊仕訳帳の形式、および元帳の丁数については解答画面を参照すること。  
 元丁欄にチェックマークが必要な場合は[0]を記入すること。  
 二重仕訳取引については、事実通りに記入すること。  
 赤字記入が必要な場合には金額を( )で囲むこと。  
 過求義務の処理は不要である。  
 特殊仕訳帳ならびに元帳の摘要欄、元帳の仕丁欄の記入は不要である。  
 デイトーマーク[ / ]は使用しない。

インターネット 110%

3.14 問題 6 解答画面 1

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・制度会...

**簿記原理II**

**問題6** (6/6)

表示画面の選択

問題画面1.	表示画面の選択			問題番号の選択			ログアウト
解答画面1.	解答画面2.	解答画面3.	解答画面4.	問題1	問題2	問題3	
				問題4	問題5	問題6	

解答する

解答

当座勘定出納帳

日付	相手勘定		摘要	元 丁	借方勘定			貸方勘定			預入	引出	借又貸	残高
	借方勘定	貸方勘定			諸口	買掛金	支払手形	諸口	売掛金	受取手形				
1			省 略										借 " " " " " " " "	
			繰越											

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧()は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

3.15 問題 6 解答画面 2

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・制度会...

簿記原理II

問題6 (6/6)

表示画面の選択

問題画面1.	問題画面2.	問題画面3.	問題画面4.
--------	--------	--------	--------

問題番号の選択

問題1	問題2	問題3	問題4	問題5	問題6
-----	-----	-----	-----	-----	-----

ログアウト

解答する

解答

仕入帳(略式)

日付	貸方勘定	摘要	元丁	諸口	買掛金
1		省略			
		諸口			
		買掛金			
		総仕入高			
		値引高			
		純仕入高			

売上帳(略式)

日付	借方勘定	摘要	元丁	諸口	売掛金
1		省略			
		諸口			
		売掛金			
		総売上高			
		戻り高			
		純売上高			

支払手形記入帳(略式)

日付	貸方勘定	摘要	元丁	諸口	買掛金
1		省略			
		諸口			
		買掛金			
		合計			

受取手形記入帳(略式)

日付	借方勘定	摘要	元丁	諸口	売掛金
1		省略			
		諸口			
		売掛金			
		合計			

3.16 問題 6 解答画面 3

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・制度会...

簿記原理II

問題6 (6/6)

表示画面の選択

問題番号の選択

ログアウト

問題画面1. 問題画面2. 問題画面3. 問題画面4.

問題1 問題2 問題3  
 問題4 問題5 問題6

解答する

解答

普通仕訳帳<小書不要>

日付	摘要	元丁	借方	貸方
1				
31	合計仕訳			
31	当座勘定出納帳預入合計			
31	当座勘定出納帳引出合計			
31	仕入帳総仕入高			

3.17 問題 6 解答画面 4

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・制度会...

簿記原理II

問題6 (6/6)

解答する

解答

表示画面の選択		問題番号の選択		
問題画面1.		問題1	問題2	問題3
解答画面1.	解答画面2.	解答画面3.	解答画面4.	問題4
				問題5
				問題6

ログアウト

当座	1	総勘定元帳	
		売掛金	2
受取手形	3	備品	4
買掛金	5	支払手形	6
借入金	7	資本金	8
売上	9	仕入	10

## 4. 原価計算

### 4.1 問題 1 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

原価会計論

問題1 (1/8)

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題2 問題3 問題4  
 解答画面1 問題5 問題6 問題7 問題8

ログアウト

問題1 単純個別原価計算  
 当社では、単純個別原価計算を採用している。  
 製造間接費の配賦は、変動予算による正常配賦を行っている。

設問(1) 次のデータから、製造間接費の正常配賦率を設定しなさい。

	変動費率(円/時)	固定費
間接労務費	0	40,000
間接材料費	11	20,000
動力費	19	20,000
建物減価償却費	0	20,000
火災保険料	0	20,000
建物賃借料	0	40,000

基準作業度(機械作業時間) 10,000

設問(2) 当月の製造実績は次のようなものであった。

	直接材料消費単価(円/kg)	直接労務費消費費率(円/時)
	146	98

	製造指図書#1 着手 4/21	製造指図書#2 着手 5/2	製造指図書#3 着手 5/18
月初仕掛品原価	21,000	0	0
直接材料消費量(kg)	1,280	1,470	1,150
直接作業時間	1,470	1,090	1,350
機械作業時間	3,430	3,080	3,200
備考	完成 5/15	完成 5/22	仕掛中

このデータと、(1)で求めた正常配賦率から、原価計算表を完成させなさい。

設問(3) 製造間接費の実際発生額は次のようであった。

製造間接費実際発生額	
452,400	

製造間接費の差異を予算差異と作業度差異に分析し、製造間接費勘定に記入しなさい。  
 差異が発生していないところは、0を記入すること。

ページが表示されました

インターネット 110%

## 4.2 問題 1 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択 ログアウト

問題画面1 問題2 問題3 問題4  
 解答画面1 問題5 問題6 問題7 問題8

### 原価会計論

#### 問題1 (1/8)

解答する

設問(1)

変動費率(円/時)	30
固定費率(円/時)	16
正常償賦率(円/時)	46

設問(2)

	製造指図書#1	製造指図書#2	製造指図書#3
月初仕掛品原価	21 000	0	0
直接材料費	18 6880	21 4620	16 7900
直接労務費	14 4060	10 6820	13 2300
製造間接費	15 7780	14 21 40	14 7200
計	50 9720	46 3560	44 7400
備考	完成 5/15	完成 5/22	仕掛中

設問(3)

	製造間接費	正常償賦額	44 7120
実際発生額	45 2400		
予算差異		0	800
操業度差異		0	44 80
	45 2400		45 2400

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

ページが表示されました

インターネット 110%

### 4.3 問題 2 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題1 問題2 問題3 問題4  
 解答画面1 問題5 問題6 問題7 問題8

ログアウト

## 原価会計論

### 問題2 (2/8)

問題2 部門別個別原価計算

当社では、部門別個別原価計算を行っている。  
 製造部門として切削部門と組立部門、補助部門として動力部門と水道部門を擁する。  
 製造部門費の製品別配賦は、製造間接費予算による正常配賦をおこなっている。

設問(1)次の資料に基づき、簡便法による相互配賦法によって部門費の第2次集計を行い、  
 製造部門の正常配賦率を決定せよ。

第1次集計額

	切削部門	組立部門	動力部門	水道部門
変動費	1,043,900	2,549,180	261,800	465,120
固定費	965,280	1,918,320	327,600	478,800
計	2,009,180	4,467,500	589,400	943,920

配賦基準量

配賦基準量	切削部門	組立部門	動力部門	水道部門	計
動力部門(kwh)					
消費予定量	1,700	1,360	0	680	3,740
消費能力	2,280	1,710	0	950	4,940
水道部門(リットル)					
消費予定量	1,275	1,105	850	0	3,230
消費能力	1,680	1,470	1,050	0	4,200

基準作業度(機械作業時間)

	切削部門	組立部門
	9,000	12,000

設問(2)設問(1)の結果と次の資料に基づき、各製造指図書に製造原価を集計しなさい。

指図書#1の製品は補修を要したので、補修指図書#1-R1を発行した。また、指図書#2の製品は仕損が激しく、代品を製造するので、代品指図書#2-2を発行した。

製造実績

指図書番号	#1	#2	#3	#1-R1	#2-2
材料消費量(kg)	830		960	1,040	180
直接作業時間	1,050		900	1,050	230
製造間接費					
切削部門機械作業時間	1,530		2,450	1,650	240
組立部門機械作業時間	1,960		1,920	1,960	830
仕損品売却益(円)	20,500		0	1,300	1,100
備考	補修	#2-2へ振り替え	仕掛中	#1へ振り替え	完成
材料消費単価(円/kg)		900			
消費費率(円/時)		280			

ページが表示されました

インターネット 110%

#### 4.4 問題 2 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

原価会計論

問題2 (2/8)

表示画面の選択: 問題画面1, 問題2, 問題3, 問題4, 問題5, 問題6, 問題7, 問題8  
 問題番号の選択: 問題画面1, 問題2, 問題3, 問題4, 問題5, 問題6, 問題7, 問題8

ログアウト

解答する

設問(1)

	切削部門			組立部門			動力部門			水道部門		
	変動費	固定費	計	変動費	固定費	計	変動費	固定費	計	変動費	固定費	計
第1次集計額	1,043,900	995,280	2,039,180	2,549,180	1,918,320	4,467,500	261,800	327,600	589,400	465,120	478,800	943,920
第2次集計												
第1次割賦												
動力部門費	119,000	151,200	270,200	95,200	113,400	208,600	-	-	-	47,600	63,000	110,600
水道部門費	18,360	191,520	375,120	15,912	167,580	326,700	12,240	11,970	24,210	-	-	-
第2次割賦												
動力部門費	68,000	68,400	136,400	54,400	51,300	105,700						
水道部門費	25,500	33,600	59,100	22,100	29,400	51,500						
第2次集計額	39,610	44,472	84,082	33,082	36,168	69,250						
部門費合計	144,000	144,000	288,000	288,000	228,000	516,000						
正常割賦率	160	160	320	240	190	430						

設問(2)

指図書番号	#1	#2	#3	#1-R1	#2-2
直接材料費	74,700	86,400	93,600	16,200	75,600
直接労務費	29,400	25,200	29,400	64,400	25,760
製造間接費					
切削部門	48,960	78,400	52,800	76,800	56,320
組立部門	84,280	82,560	84,280	35,690	78,260
仕損売却	(2,050)	0	(1,300)	(1,100)	(1,300)
振替	65,900	(272,600)	仕掛中	(65,900)	272,600
合計	301,190	0	259,500	0	508,370

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

ページが表示されました

インターネット 110%

#### 4.5 問題3 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択 ログアウト

問題画面1 問題1 問題2 問題3 問題4  
 解答画面1 問題5 問題6 問題7 問題8

### 原価会計論

## 問題3 (3/8)

問題3 単純総合原価計算

当社では、単一の製品を単一の工程で連続的に生産している。

設問(1) 次の資料に基づき、単純総合原価計算を行って、原価計算表を完成させなさい。  
 仕掛品の評価は平均法によること。なお、原材料は工程の始点ですべて投入されている。

月初仕掛品(kg)	400
加工進捗度	60%
完成品(kg)	4,700
月末仕掛品(kg)	600
加工進捗度	70%

(単位:円)

月初仕掛品原価	
原材料費	80,000
加工費	36,000
当月製造費用	
原材料費	980,000
加工費	732,000

設問(2) 次の資料に基づき、単純総合原価計算を行って、原価計算表を完成させなさい。  
 仕掛品の評価は先入先出法によること。なお、原材料は工程の始点ですべて投入されている。

月初仕掛品(kg)	600
加工進捗度	60%
完成品(kg)	5,700
月末仕掛品(kg)	300
加工進捗度	70%

(単位:円)

月初仕掛品原価	
原材料費	64,800
加工費	31,320
当月製造費用	
原材料費	594,000
加工費	489,500

設問(3) 次の資料に基づき、単純総合原価計算を行って、原価計算表を完成させなさい。  
 仕掛品の評価は後入先出法によること。なお、原材料は工程の始点ですべて投入されている。

月初仕掛品(kg)	500
加工進捗度	50%
完成品(kg)	5,600
月末仕掛品(kg)	600
加工進捗度	50%

月初仕掛品原価

ページが表示されました

インターネット 110%

#### 4.6 問題3 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択 [ログアウト](#)

問題画面1. 問題2. 問題3. 問題4.  
 解答画面1. 問題5. 問題6. 問題7. 問題8.

**原価会計論**

**問題3** (3/8)

解答する

設問(1)

月初仕掛品原価	
原材料費	80,000
加工費	36,000
計	116,000
当月製造費用	
原材料費	980,000
加工費	732,000
計	1,712,000
投入原価計	1828000
差引:月末仕掛品原価	
原材料費	120,000
加工費	63,000
計	183,000
完成品総合原価	1645000

設問(2)

月初仕掛品原価	
原材料費	64,800
加工費	31,320
計	96,120
当月製造費用	
原材料費	584,000
加工費	499,500
計	1,083,500
投入原価計	1189620
差引:月末仕掛品原価	
原材料費	33,000
加工費	18,900
計	51,900
完成品総合原価	1137720

設問(3)

月初仕掛品原価	
原材料費	78,500
加工費	33,000
計	111,500
当月製造費用	
原材料費	912,000
加工費	734,500
計	1,646,500
投入原価計	1758000
差引:月末仕掛品原価	
原材料費	94,500

ページが表示されました

インターネット 110%

#### 4.7 問題 4 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

原価会計論

問題4 (4/8)

表示画面の選択: 問題画面1, 解答画面1

問題番号の選択: 問題1, 問題2, 問題3, 問題4, 問題5, 問題6, 問題7, 問題8

ログアウト

問題4 減損費の処理

当社は、単一の製品Xを単一の工程を使用して連続的に生産している。原材料は工程の始点ですべて投入されている。仕掛品は平均法で評価する。正常減損費は非度外視法により処理する。次の資料に基づき、原価計算表を完成させなさい。

(単位:円)

月初仕掛品(kg)	500	月初仕掛品	
加工進捗度	50%	直接材料費	74,000
完成品(kg)	4,680	加工費	32,750
月末仕掛品(kg)	520	計	106,750
加工進捗度	50%	当月製造費用	
正常減損(kg)	500	直接材料費	781,000
減損発生点	50%	加工費	641,950
		計	1,422,950

ページが表示されました

インターネット 120%

#### 4.8 問題 4 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

原価会計論

問題4 (4/8)

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1. 問題2 問題3 問題4  
 解答画面1. 問題5 問題6 問題7 問題8

ログアウト

解答する

	完成品	月末仕掛品	正常減損	合計
直接材料費	702000	78000	75000	855000
正常減損追加配賦	67500	7500	(75000)	0
小計	769500	85500	0	855000
加工費	608400	33800	32500	674700
正常減損追加配賦	29250	3250	(32500)	0
小計	637650	37050	0	674700
合計	1407150	122550	0	1529700

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

ページが表示されました

インターネット 120%

#### 4.9 問題 5 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

原価会計論

問題5 (5/8)

表示画面の選択: 問題画面1, 解答画面1

問題番号の選択: 問題1, 問題2, 問題3, 問題4, 問題5, 問題6, 問題7, 問題8

ログアウト

問題5 工程別総合原価計算

当社では2つの連続する工程を用いて一つの製品を連続的に生産している。  
 原材料は、第1工程の始点ですべて投入される。  
 また、第1工程で完成した製品は、すべて第2工程に投入される。  
 次のデータをもとに、累加法により工程別総合原価計算を行い、原価計算表を完成させなさい。  
 なお、第1工程の正常減損は当月着手分から発生したものと処理すること。

	第1工程	第2工程
月初仕掛品(個)	400	300
加工進捗度	60%	60%
完成品(個)	4,900	4,600
月末仕掛品(個)	500	400
加工進捗度	50%	50%
正常減損(個)	200	200
減損発生点	40%	60%

(単位:円)

月初仕掛品原価		
原材料費	99,500	—
加工費	48,000	58,380
前工程費	—	128,620
計	147,500	187,000
当月製造費用		
原材料費	1,357,200	—
加工費	998,000	974,820
前工程費	—	?
計	2,355,200	?
仕掛品原価の計算	先入先出法	平均法
減損費の処理	非度外視法	非度外視法

ページが表示されました

インターネット 120%

#### 4.10 問題 5 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択 [ログアウト](#)

問題画面1. 問題1 問題2 問題3 問題4  
 解答画面1. 問題5 問題6 問題7 問題8

**原価会計論**  
**問題5** (5/8)

解答する

	第1工程		
	原材料費	加工費	計
月初仕掛品原価	99,500	48,000	147,500
当月製造費用	1,357,200	998,000	2,355,200
投入原価計	1,456,700	1,046,000	2,502,700
差引:			
月末仕掛品原価	130,500	50,000	180,500
正常減損追加配賦額	5,220	1,600	6,820
月末仕掛品原価合計	135,720	51,600	187,320
完成品総合原価	1,320,980	994,400	2,315,380

	第2工程		
	前工程費	加工費	計
月初仕掛品原価	128,620	58,380	187,000
当月製造費用	2,315,380	974,820	3,290,200
投入原価計	2,444,000	1,033,200	3,477,200
差引:			
月末仕掛品原価	188,000	42,000	230,000
正常減損追加配賦額	0	0	0
月末仕掛品原価合計	188,000	42,000	230,000
完成品総合原価	2,256,000	991,200	3,247,200

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

ページが表示されました

インターネット 120%

#### 4.11 問題 6 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

簿記・原価計算... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題1 問題2 問題3 問題4  
 解答画面1 問題5 問題6 問題7 問題8

ログアウト

### 原価会計論

## 問題6 (6/8)

問題6 組別総合原価計算

当社では、同じ工程を使って3組の組製品を連続的に生産している。原材料は工程の始点ですべて投入されている。また、正常減損費は非度外視法で処理する。正常減損は当月着手分から発生したものととして処理する。これらの条件と、次のデータから組別総合原価計算を行い、原価計算表を完成させなさい。

	第1組	第2組	第3組
月初仕掛品(個)	330	400	400
加工進捗度	70%	70%	50%
完成品(個)	3,830	4,000	4,800
月末仕掛品(個)	1,500	400	310
加工進捗度	60%	80%	60%
正常減損	160	200	-
減損発生点	50%	工程の始点	-

(単位:円)

	第1組	第2組	第3組
月初仕掛品原価			
原材料費	223,410	286,800	238,800
加工費	94,710	114,800	74,000
計	318,120	401,600	312,800
当月製造費用			
原材料費	3,508,800	3,024,000	2,826,000
加工費	1,654,200	1,452,200	1,568,660
計	5,163,000	4,476,200	4,394,660
仕掛品原価の計算	先入先出法	先入先出法	先入先出法
減損の処理	非度外視法	非度外視法	-

組間接費

建物減価償却費	261,800
火災保険料	66,500
厚生費	167,200

配賦基準	第1組	第2組	第3組
占有面積(平方メートル)	70	50	50
作業時間(時間)	2,400	3,600	3,500
従業員数(人)	60	70	60

ページが表示されました

インターネット 120%

4.12 問題 6 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題2 問題3 問題4  
 解答画面1 問題5 問題6 問題7 問題8

原価会計論  
 問題6 (6/8)

解答する 組間接費の配賦結果

	第1組	第2組	第3組
建物減価償却費	107800	77000	77000
火災保険料	16800	25200	24500
厚生費	52800	61600	52800
合計	177400	163800	154300

	第1組		
	原材料費	加工費	計
月初仕掛品原価	223,410	94,710	318,120
当月製造費用	3,508,800	1,831,600	5,340,400
投入原価計	3,732,210	1,926,310	5,658,520
差引:			
月末仕掛品原価	1,020,000	360,000	1,380,000
正常減損追加配賦額	32,640	9,600	42,240
追加配賦後月末仕掛品原価	1,052,640	369,600	1,422,240
完成品総合原価	2,679,570	1,556,710	4,236,280

	第2組		
	原材料費	加工費	計
月初仕掛品原価	286,800	114,800	401,600
当月製造費用	3,024,000	1,616,000	4,640,000
投入原価計	3,310,800	1,730,800	5,041,600
差引:			
月末仕掛品原価	288,000	128,000	416,000
正常減損追加配賦額	14,400	0	14,400
追加配賦後月末仕掛品原価	302,400	128,000	430,400
完成品総合原価	3,008,400	1,602,800	4,611,200

ページが表示されました

インターネット 120%

#### 4.13 問題 7 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

表示画面の選択  
 問題画面1. 問題画面2. 問題画面3. 問題画面4. 問題画面5. 問題画面6. 問題画面7. 問題画面8.

問題番号の選択  
 問題1. 問題2. 問題3. 問題4. 問題5. 問題6. 問題7. 問題8.

ログアウト

### 原価会計論

## 問題7 (7/8)

問題7 等級別総合原価計算

設問(1)  
 当社では、同一の工程・原料を使って、3種類の等級製品を連続的に製造している。原材料は工程の始点ですべて投入されている。連結原価はあらかじめ投入量の種数によって等級製品別に按分し、各製品ごとに完成品原価を計算する。月末仕掛品の計算は平均法による。正常減損費の処理は、非度外視法による。この条件と、次のデータから等級別総合原価計算を行い、原価計算表を完成させなさい。

	等級製品X	Y	Z
月初仕掛品(個)	400	400	200
加工進捗度	50%	50%	70%
完成品(個)	5,600	5,800	4,000
月末仕掛品(個)	500	500	1,000
加工進捗度	70%	60%	70%
正常減損(個)	400	-	400
減損発生点	80%	-	60%

	等級製品X	Y	Z
等価係数			
原材料費	1.0	0.7	0.5
加工費	1.0	0.7	0.5

	等級製品X	Y	Z
月初仕掛品原価			
原材料費	168,000	633,500	787,400
加工費	88,700	67,900	37,300
計	267,700	701,400	824,700

当月製造費用	
原材料費	3,335,800
加工費	2,268,000
計	5,603,800

設問(2)  
 当社では、同一の工程・原料を使って、3種類の等級製品を連続的に製造している。原材料は工程の始点ですべて投入されている。連結原価の製品別への按分と、各製品ごとの完成品原価の計算を平行して行う。月末仕掛品の計算は平均法による。正常減損費の処理は、非度外視法による。この条件と、次のデータから等級別総合原価計算を行い、原価計算表を完成させなさい。

	等級製品X	Y	Z
月初仕掛品(個)	300	500	300
加工進捗度	50%	60%	60%
完成品(個)	4,760	4,600	3,600
月末仕掛品(個)	840	500	400
加工進捗度	50%	60%	60%
正常減損(個)	400	-	300
減損発生点	40%	-	50%

ページが表示されました

インターネット 110%

4.14 問題7 解答画面1

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

原価会計論

問題7 (7/8)

表示画面の選択: 問題画面1, 解答画面1, 解答画面2

問題番号の選択: 問題1, 問題2, 問題3, 問題4, 問題5, 問題6, 問題7, 問題8

ログアウト

解答する

設問(1)

	等級製品X		
	原材料費	加工費	計
月初仕掛品原価	169,000	98,700	267,700
当月製造費用	1586000	1092600	2678600
投入原価計	1755000	1191300	2946300
差引:			
月末仕掛品原価	135000	66500	201500
正常減損追加増減額	0	0	0
追加増減後月末仕掛品原価	135000	66500	201500
完成品総合原価	1620000	1124800	2744800

	等級製品Y		
	原材料費	加工費	計
月初仕掛品原価	633,500	67,900	701,400
当月製造費用	1073800	743400	1817200
投入原価計	1707300	811300	2518600
差引:			
月末仕掛品原価	135500	39900	175400
完成品総合原価	1571800	771400	2343200

	等級製品Z		
	原材料費	加工費	計
月初仕掛品原価	787,400	37,300	824,700
当月製造費用	676000	432000	1108000
投入原価計	1463400	469300	1932700
差引:			
月末仕掛品原価	271000	66500	337500
正常減損追加増減額	21680	4560	26240
追加増減後月末仕掛品原価	292680	71060	363740
完成品総合原価	1170720	398240	1568960

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧()は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

ページが表示されました

インターネット 110%

4.15 問題 7 解答画面 2

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

原価会計論

問題7 (7/8)

表示画面の選択: 問題画面1, 解答画面1, 解答画面2

問題番号の選択: 問題1, 問題2, 問題3, 問題4, 問題5, 問題6, 問題7, 問題8

ログアウト

解答する

設問(2)

	等級製品X		
	原材料費	加工費	計
月初仕掛品原価	63,600	26,850	90,450
当月製造費用	11,964,000	93,435,000	21,307,500
投入原価計	12,600,600	96,120,000	22,212,600
差引:			
月末仕掛品原価	17,640,000	75,600,000	25,200,000
正常減損追加増減額	12,600,000	43,200,000	16,920,000
追加増減後月末仕掛品原価	18,900,000	79,920,000	26,892,000
完成品総合原価	10,710,000	88,128,000	19,528,000

	等級製品Y		
	原材料費	加工費	計
月初仕掛品原価	53,000	48,330	101,330
当月製造費用	48,250,000	74,547,000	12,279,700
投入原価計	53,550,000	79,380,000	13,299,900
差引:			
月末仕掛品原価	52,500,000	48,600,000	101,100,000
完成品総合原価	48,300,000	74,520,000	12,282,000

	等級製品Z		
	原材料費	加工費	計
月初仕掛品原価	50,880	25,776	76,656
当月製造費用	67,152,000	54,878,400	12,209,904
投入原価計	72,240,000	57,456,000	12,969,960
差引:			
月末仕掛品原価	67,200,000	34,560,000	101,760,000
正常減損追加増減額	50,400,000	21,600,000	72,000,000
追加増減後月末仕掛品原価	72,240,000	36,720,000	108,960,000
完成品総合原価	65,016,000	53,784,000	11,880,000

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧()は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかき、マイナス記号(-)は記載しないこと。

ページが表示されました

インターネット 110%

#### 4.16 問題 8 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択 ログアウト

問題画面1 問題1 問題2 問題3 問題4  
 解答画面1 問題5 問題6 問題7 問題8

### 原価会計論

## 問題8 (8/8)

問題8 標準原価計算

当社では、製品Wのみを生産しており、標準原価計算制度を導入している。  
 Wの標準原価カードは次のようなものである。  
 直接材料は工程の始点ですべて投入されている。

標準原価カード	標準単価	標準消費量	原価標準(円/個)
直接材料費	220	9	1,980
直接労務費	170	3	510
製造間接費	180	3	540
合計			3,030

製造間接費の標準配賦率算定の基礎となる変動予算は次の通りである。

製造間接費変動予算	
基準操業度(直接作業時間)	13,000
固定費総額(円)	1,170,000
変動費率(円/時)	90
固定費率(円/時)	90
標準配賦率(円/時)	180

当月の生産データと、原価の実際発生額は次の通りであった。

月初仕掛品(個)	240
進捗度	80%
完成品(個)	4,100
月末仕掛品(個)	230
進捗度	60%

実際直接材料費(円)	8,068,400
直接材料実際消費量(kg)	36,790
実際直接労務費(円)	2,138,080
実際作業時間(時間)	12,880
実際製造間接費(円)	2,228,240

このデータを基に、完成品原価と月末仕掛品原価の計算を行い、  
 パーシャル・プランの場合とシングル・プランの場合の仕掛品勘定を完成させなさい。  
 なお、製造間接費の差異分析は4分法によること。  
 差異が発生していないところには、0を記入すること。

ページが表示されました

インターネット 110%

4.17 問題 8 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

原価会計論

問題8 (6/8)

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6 問題7 問題8

解答画面1

ログアウト

解答する

パーソナル・プランの場合

仕掛品 直接材料費		仕掛品 直接材料費	
月初仕掛品原価	475200	当月完成品原価	8118000
当月製造費用	8068400	月末仕掛品原価	455400
材料費差異		材料費差異	
価格差異	25400	価格差異	0
数量差異	4400	数量差異	0
計	8573400	計	8573400

仕掛品直接労務費		仕掛品直接労務費	
月初仕掛品原価	97920	当月完成品原価	2091000
当月製造費用	2138080	月末仕掛品原価	70380
労務費差異		労務費差異	
賃率差異	51520	賃率差異	0
時間差異	0	時間差異	126140
計	2287520	計	2287520

仕掛品製造間接費		仕掛品製造間接費	
月初仕掛品原価	103680	当月完成品原価	2214000
当月製造費用	2228240	月末仕掛品原価	74520
製造間接費差異		製造間接費差異	
予算差異	100860	予算差異	0
変動費能率差異	0	変動費能率差異	66780
固定費能率差異	0	固定費能率差異	66780
不動能力差異	0	不動能力差異	10800
計	2432880	計	2432880

シングル・プラン

仕掛品直接材料費		仕掛品直接材料費	
月初仕掛品原価	475200	当月完成品原価	8118000
当月製造費用	8098200	月末仕掛品原価	455400
計	8573400	計	8573400

仕掛品直接労務費		仕掛品直接労務費	
月初仕掛品原価	97920	当月完成品原価	2091000
当月製造費用	2063460	月末仕掛品原価	70380
計	2161380	計	2161380

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5. 制度会計

### 5.1 問題 1 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait

Live Search

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

ページ(P) ツール(Q)

ログアウト

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

制度会計入門

問題1 (1/12)

問題1  
 以下のデータにしたがって連結貸借対照表を作成しなさい。  
 (1)S社はP社の全額出資子会社であり、P社の製品の販売はすべてS社をとおして行なわれている。  
 (2)当期末におけるP社とS社の貸借対照表は以下のとおりである。(単位:千円)

P社 貸借対照表		S社 貸借対照表	
資産		資産	
現金預金	30,000	現金預金	10,000
売掛金	120,000	売掛金	100,000
棚卸資産	96,000	棚卸資産	70,000
固定資産	150,000	固定資産	40,000
S社株式	26,000		
資産合計	422,000	資産合計	220,000
負債		負債	
買掛金	110,000	買掛金	120,000
借入金	60,000	借入金	40,000
負債合計	170,000	負債合計	160,000
純資産		純資産	
資本金	80,000	資本金	26,000
利益剰余金	172,000	利益剰余金	34,000
純資産合計	252,000	純資産合計	60,000
負債・純資産合計	422,000	負債・純資産合計	220,000

③P社の売掛金はすべてS社に対するものである。  
 (4)S社の棚卸資産にはP社販売製品についての未実現利益が14,000千円含まれている。

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.2 問題 1 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

制度会計入門

問題1 (1/12)

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

ログアウト

解答する

P社 連結貸借対照表		
資産		
現金預金		40000
売掛金		100000
棚卸資産		152000
固定資産		190000
資産合計		482000
負債		
買掛金		110000
借入金		100000
負債合計		210000
純資産		
資本金		80000
利益剰余金		192000
純資産合計		272000
負債・純資産合計		482000

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧()は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

ページが表示されました

インターネット 110%

### 5.3 問題 2 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

Live Search

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1. 問題2. 問題3. 問題4. 問題5. 問題6. 問題7. 問題8. 問題9. 問題10. 問題11. 問題12.

解答画面1.

ログアウト

## 制度会計入門

### 問題2 (2/12)

問題2

P社は、×1年3月31日にS社の発行済議決権付株式総数の100%を現金で取得した。この取引についてのデータは以下のとおりである。(単位:千円)

(1)取得原価 69,000 千円

(2)×1年3月31日におけるP社とS社の貸借対照表

P社 貸借対照表 ×1年3月31日		S社 貸借対照表 ×1年3月31日	
資産		資産	
現金預金	40,000	現金預金	8,000
売掛金	83,000	売掛金	50,000
棚卸資産	85,000	棚卸資産	26,000
固定資産	372,000	固定資産	120,000
S社株式	69,000		
資産合計	659,000	資産合計	204,000
負債		負債	
買掛金	303,000	買掛金	102,000
借入金	85,000	借入金	40,000
負債合計	388,000	負債合計	142,000
純資産		純資産	
資本金	200,000	資本金	45,000
利益剰余金	71,000	利益剰余金	17,000
純資産合計	271,000	純資産合計	62,000
負債・純資産合計	659,000	負債・純資産合計	204,000

(3)S社の固定資産には土地が含まれている。その帳簿価額は25,000千円であり、時価は27,000千円ある。

以上(1)~(3)のデータにしたがって、連結貸借対照表を作成しなさい。

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.4 問題 2 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

Live Search

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1. 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1. 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

ログアウト

制度会計入門

問題2 (2/12)

解答する

P社  
 連結貸借対照表  
 ×1年3月31日

資産		
現金預金		48000
売掛金		133000
棚卸資産		121000
固定資産		494000
のれん		50000
	資産合計	801000
負債		
買掛金		405000
借入金		125000
	負債合計	530000
純資産		
資本金		200000
利益剰余金		71000
	純資産合計	271000
	負債・純資産合計	801000

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.5 問題3 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

Live Search

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択 ログアウト

問題画面1. 問題2. 問題3. 問題4. 問題5. 問題6.  
 解答画面1. 問題7. 問題8. 問題9. 問題10. 問題11. 問題12.

### 制度会計入門

## 問題3 (3/12)

問題3  
 P社は、×1年3月31日にS社の発行済議決権付株式総数の60%を現金で取得した。この取引に  
 ついてのデータは以下のとおりである。(単位:千円)

(1)取得原価 26,900 千円  
 (2)×1年3月31日におけるP社とS社の貸借対照表

P社 貸借対照表 ×1年3月31日		S社 貸借対照表 ×1年3月31日	
資産		資産	
現金預金	20,000	現金預金	3,000
売掛金	68,000	売掛金	24,000
棚卸資産	53,000	棚卸資産	18,000
固定資産	295,000	固定資産	72,000
S社株式	26,900		
資産合計	462,900	資産合計	117,000
負債		負債	
買掛金	166,000	買掛金	49,200
借入金	124,000	借入金	36,400
負債合計	290,000	負債合計	85,600
純資産		純資産	
資本金	150,000	資本金	20,000
利益剰余金	22,900	利益剰余金	11,400
純資産合計	172,900	純資産合計	31,400
負債・純資産合計	462,900	負債・純資産合計	117,000

(3)S社の固定資産には土地が含まれている。その帳簿価額は14,000千円であり、時価は19,000千円である。

以上(1)~(3)のデータにしたがって、連結貸借対照表を作成しなさい。なお、S社の資産と負債の評価は全面時価評価法を適用すること。

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.6 問題 3 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

Live Search

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

ページ(P) ツール(Q)

ログアウト

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1. 問題2. 問題3. 問題4. 問題5. 問題6.  
 解答画面1. 問題7. 問題8. 問題9. 問題10. 問題11. 問題12.

制度会計入門

問題3 (3/12)

解答する

P社  
 連結貸借対照表  
 ×1年3月31日

資産		
現金預金		23000
売掛金		92000
棚卸資産		71000
固定資産		372000
のれん		5060
資産合計		563060
負債		
買掛金		215200
借入金		160400
負債合計		375600
純資産		
株主資本		
資本金		150000
利益剰余金		22900
少数株主持分		14560
純資産合計		187460
負債・純資産合計		563060

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.7 問題 4 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択 ログアウト

問題画面1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

### 制度会計入門

## 問題4 (4/12)

問題4  
 P社は、×1年3月にS社の発行済議決権付株式総数の80%を現金で取得した。この取引について  
 のデータは以下のとおりである。(単位:千円)

(1)取得原価 722,000 千円  
 (2)×1年3月31日におけるP社とS社の貸借対照表

P社 貸借対照表 ×1年3月31日		S社 貸借対照表 ×1年3月31日	
資産		資産	
現金預金	73,000	現金預金	60,000
売掛金	412,000	売掛金	360,000
棚卸資産	308,000	棚卸資産	235,000
固定資産	1,650,000	固定資産	1,080,000
S社株式	722,000		
<b>資産合計</b>	<b>3,165,000</b>	<b>資産合計</b>	<b>1,735,000</b>
負債		負債	
買掛金	1,015,000	買掛金	620,000
社債	500,000	社債	460,000
<b>負債合計</b>	<b>1,515,000</b>	<b>負債合計</b>	<b>1,080,000</b>
純資産		純資産	
資本金	600,000	資本金	250,000
資本剰余金	420,000	資本剰余金	220,000
利益剰余金	630,000	利益剰余金	185,000
<b>純資産合計</b>	<b>1,650,000</b>	<b>純資産合計</b>	<b>435,000</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>3,165,000</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,515,000</b>

(3)S社の資産・負債の帳簿価額は時価と等しい。

また、P社とS社の当期(×1年4月1日から×2年3月31日まで)の財務諸表は以下のとおりである。

(1)貸借対照表

P社 貸借対照表 ×2年3月31日		S社 貸借対照表 ×2年3月31日	
資産		資産	
現金預金	72,000	現金預金	64,000
売掛金	408,000	売掛金	419,000
棚卸資産	310,000	棚卸資産	230,000

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.8 問題 4 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択 ログアウト

問題画面1. 問題2. 問題3. 問題4. 問題5. 問題6.  
 解答画面1. 問題7. 問題8. 問題9. 問題10. 問題11. 問題12

**制度会計入門**

**問題4** (4/12)

解答する

のれん	355300
資本金	600000
少数株主持分	138400
少数株主利益	10400
当期純利益	114900
利益剰余金期末残高	691900

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.9 問題 5 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択 ログアウト

問題画面1. 問題2. 問題3. 問題4. 問題5. 問題6.  
 解答画面1. 問題7. 問題8. 問題9. 問題10. 問題11. 問題12

### 制度会計入門

## 問題5 (5/12)

問題5  
 P社は、S社の発行済議決権付株式総数の80%を所有している。そこで、下記のデータをもとづいて以下の問いに答えなさい。(単位:千円)

(1)P社のS社株式取得状況とS社資本勘定の推移

取得状況			
取得日	取得株式数	取得原価	取得比率
×1年3月31日	40,000株	36,300	20%
×3年3月31日	80,000株	59,800	40%
×5年3月31日	40,000株	25,500	20%

S社資本勘定						
年月日	発行済株式数	資本金	資本準備金	利益準備金	任意積立金	繰越利益剰余金
×1年3月31日	200,000株	100,000	12,000	1,200	5,600	8,800
×3年3月31日	200,000株	100,000	12,000	1,500	5,600	9,000
×5年3月31日	200,000株	100,000	12,000	2,000	6,000	9,300
×6年3月31日	200,000株	100,000	12,000	2,300	6,500	10,500

(2)S社が保有する土地の帳簿価額と時価

	帳簿価額	時価
×1年3月31日	38,000	40,400
×3年3月31日	38,000	39,900
×5年3月31日	38,000	38,700

なお、土地以外の資産・負債の帳簿価額は時価と等しい。

<問1>  
 ×6年度(×6年4月1日から×7年3月31日まで)の連結財務諸表を作成するための開始仕訳を示しなさい。ただし、S社の資産・負債の評価は部分時価評価法によること。また、投資消去差額はすべてのれんとし、発生年度の翌年より20年間で均等償却すること。

<問2>  
 S社の資産・負債の評価を全面時価評価法によって行った場合の開始仕訳を示しなさい。

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.10 問題 5 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択 [ログアウト](#)

問題画面1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

制度会計入門

問題5 (5/12)

解答する

<問1>

借方	金額	貸方	金額
資本金	100000	S社株式	121600
資本剰余金期首残高	12000	少数株主持分	26260
利益剰余金期首残高	20600	のれん	475
評価差額	1380		
のれん	14355		

<問2>

借方	金額	貸方	金額
資本金	100000	S社株式	121600
資本剰余金期首残高	12000	少数株主持分	26640
利益剰余金期首残高	19658	のれん	703
評価差額	1900		
のれん	15385		

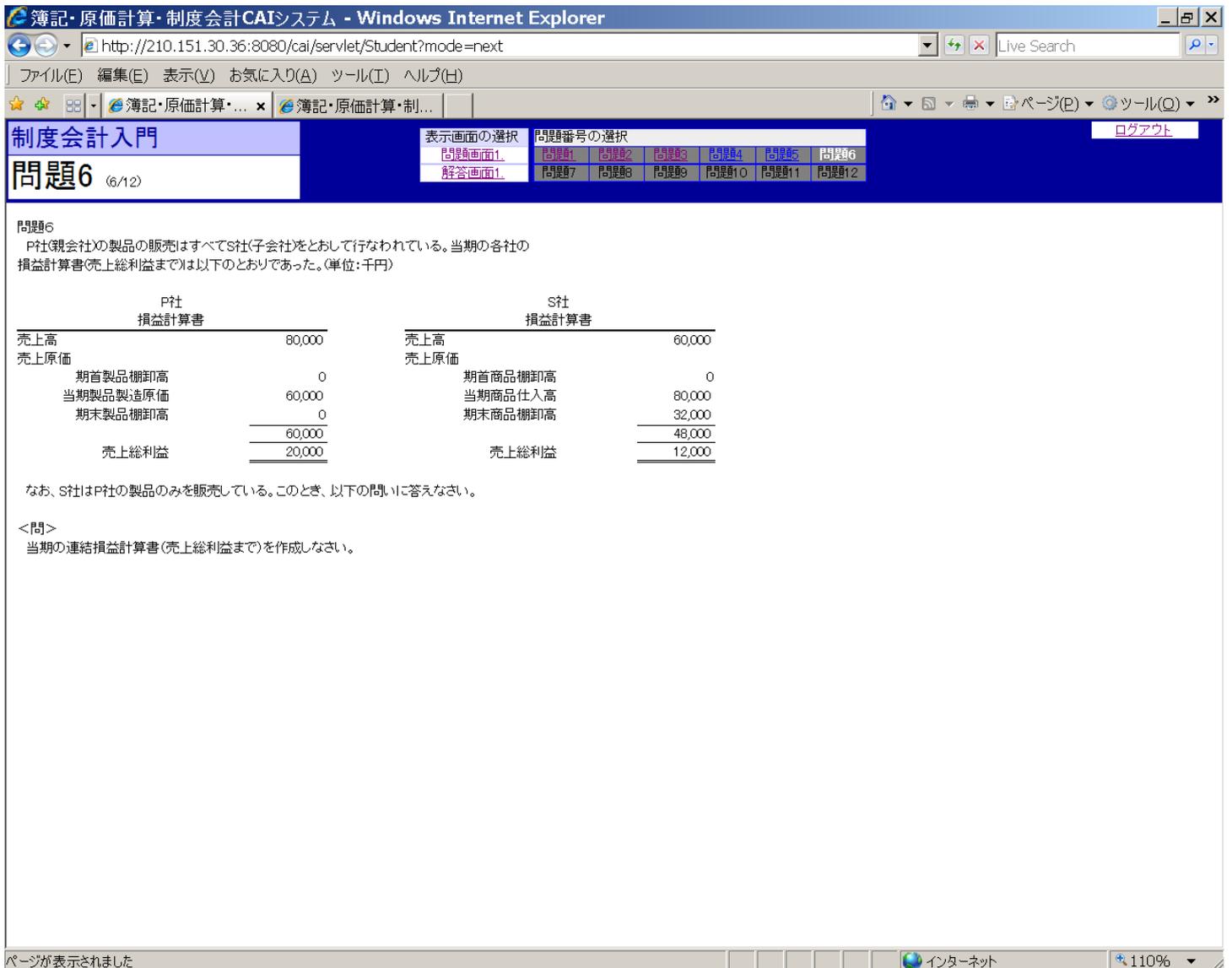
数字はすべて半角でいれること。  
 括弧()は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.11 問題 6 問題画面



簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択 ログアウト

問題画面1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

### 制度会計入門

## 問題6 (6/12)

問題6  
 P社(親会社)の製品の販売はすべてS社(子会社)をとおして行なわれている。当期の各社の損益計算書(売上総利益まで)は以下のとおりであった。(単位:千円)

P社 損益計算書		S社 損益計算書	
売上高	80,000	売上高	60,000
売上原価		売上原価	
期首製品棚卸高	0	期首商品棚卸高	0
当期製品製造原価	60,000	当期商品仕入高	80,000
期末製品棚卸高	0	期末商品棚卸高	32,000
	60,000		48,000
売上総利益	20,000	売上総利益	12,000

なお、S社はP社の製品のみを販売している。このとき、以下の問いに答えなさい。

<問>  
 当期の連結損益計算書(売上総利益まで)を作成しなさい。

ページが表示されました

インターネット 110%

5.12 問題 6 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

Live Search

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

ページ(P) ツール(Q)

ログアウト

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1. 問題2. 問題3. 問題4. 問題5. 問題6

解答画面1. 問題7. 問題8. 問題9. 問題10. 問題11. 問題12

制度会計入門

問題6 (6/12)

解答する

P社 連結損益計算書	
売上高	60000
売上原価	
期首製品棚卸高	0
当期製品製造原価	60000
期末製品棚卸高	24000
	36000
売上総利益	24000

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧()は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

ページが表示されました

インターネット 110%

### 5.13 問題 7 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

ログアウト

## 制度会計入門

### 問題7 (7/12)

問題7  
 P社(親会社)の製品の販売はすべてS社(子会社)をとおして行なわれている。当期(×2年4月1日から×3年3月31日)までの各社の損益計算書(売上総利益まで)は以下のとおりであった。(単位:千円)

P社 損益計算書 ×2年4月1日～×3年3月31日		S社 損益計算書 ×2年4月1日～×3年3月31日	
売上高	80,000	売上高	76,250
売上原価		売上原価	
期首製品棚卸高	9,000	期首商品棚卸高	20,000
当期製品製造原価	63,000	当期商品仕入高	80,000
期末製品棚卸高	8,000	期末商品棚卸高	39,000
	64,000		61,000
売上総利益	16,000	売上総利益	15,250

なお、P社の売上総利益率は前期も当期も同じである。また、S社はP社の製品のみを販売している。このとき、以下の問いに答えなさい。

<問>  
 当期の連結損益計算書(売上総利益まで)を作成しなさい。

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.14 問題 7 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1. 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1. 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

ログアウト

制度会計入門

問題7 (7/12)

解答する

P社 連結損益計算書 ×2年4月1日～×3年3月31日	
売上高	76250
売上原価	
期首製品棚卸高	25000
当期製品製造原価	63000
期末製品棚卸高	39200
	48800
売上総利益	27450

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

ページが表示されました

インターネット 110%

5.15 問題 8 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

Live Search

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

ページ(P) ツール(Q)

ログアウト

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

制度会計入門

問題8 (8/12)

問題8

P社は、S社の発行済議決権付株式総数の70%を所有し、これを子会社として支配している。また、P社は、S社から商品を仕入れ、これを外部に販売している。当期(×2年4月1日から×3年3月31日まで)の各社の損益計算書は以下のとおりであった。(単位:千円)

P社 損益計算書 ×2年4月1日～×3年3月31日		S社 損益計算書 ×2年4月1日～×3年3月31日	
売上高	168,750	売上高	80,000
売上原価		売上原価	
期首商品棚卸高	29,000	期首製品棚卸高	9,000
当期商品仕入高	143,000	当期製品製造原価	63,000
期末商品棚卸高	37,000	期末製品棚卸高	8,000
	135,000		64,000
売上総利益	33,750	売上総利益	16,000
諸費用	10,000	諸費用	4,000
税引前当期純利益	23,750	税引前当期純利益	12,000
法人税等	9,500	法人税等	4,800
当期純利益	14,250	当期純利益	7,200

(注意事項)

- S社の製品の販売はすべてP社をとおして行なわれている。
- S社の売上総利益率は前期も当期も同じである。
- P社の期首S社商品棚卸高、当期S社商品仕入高、期末S社商品棚卸高は以下のとおりである。

期首商品棚卸高のうち S社商品棚卸高	20,000
当期商品仕入高のうち S社商品仕入高	80,000
期末商品棚卸高のうち S社商品棚卸高	29,000

以上のデータにしたがって、以下の問いに答えなさい。

<問1>  
 当期の連結売上高を答えなさい。

<問2>  
 当期の連結上の期末製商品棚卸高を答えなさい。

<問3>  
 当期の少数株主損益を答えなさい。

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.16 問題 8 解答画面



簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

制度会計入門

問題8 (8/12)

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

ログアウト

解答する

<問1>	168750
<問2>	38200
<問3>	1620
<問4>	17730

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.17 問題 9 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

ログアウト

### 制度会計入門

## 問題9 (9/12)

問題9

P社は、S社の発行済議決権付株式総数の80%を所有し、これを子会社として支配している。  
 ×2年4月1日にP社はS社に建物を売却した。この建物についてのデータは以下のとおりである。(単位:千円)

(1)売却時の帳簿価額と売却価額

帳簿価額	34,000 千円
売却価額	39,300 千円

(2)S社における当建物の減価償却方法

減価償却	定額法
耐用年数	10年
残存価額	10%

なお、S社はP社から購入した建物を×2年4月1日より営業用として使用している。  
 このとき、以下の問いに答えなさい。

<問1>  
 当期(×2年4月1日から×3年3月31日まで)の連結仕訳を示しなさい。

<問2>  
 ×7年3月31日にS社がこの建物を23,000千円で外部に売却したと仮定して、この期(×6年4月1日  
 から×7年3月31日まで)の連結仕訳を示しなさい。

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.18 問題 9 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

制度会計入門

問題9 (9/12)

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

ログアウト

解答する

<問1>

借方	金額	貸方	金額
建物売却益	5300	建物	5300
建物減価償却累計額	477	建物減価償却費	477

<問2>

借方	金額	貸方	金額
利益剰余金期首残高	3392	建物減価償却費	477
		建物売却益	2915

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.19 問題 10 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択 ログアウト

問題画面1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

### 制度会計入門

## 問題10 (10/12)

問題10  
 P社は、×1年3月にS社の発行済議決権付株式総数の40%を現金で取得した。この取引について  
 のデータは以下のとおりである。(単位:千円)

(1)取得原価 318,000 千円  
 (2)×1年3月31日におけるP社とS社の貸借対照表

P社 貸借対照表 ×1年3月31日		S社 貸借対照表 ×1年3月31日	
資産		資産	
現金預金	73,000	現金預金	60,000
売掛金	412,000	売掛金	360,000
棚卸資産	308,000	棚卸資産	235,000
固定資産	1,650,000	固定資産	1,080,000
S社株式	318,000		
<b>資産合計</b>	<b>2,761,000</b>	<b>資産合計</b>	<b>1,735,000</b>
負債		負債	
買掛金	611,000	買掛金	619,000
社債	500,000	社債	460,000
<b>負債合計</b>	<b>1,111,000</b>	<b>負債合計</b>	<b>1,079,000</b>
純資産		純資産	
資本金	600,000	資本金	250,000
資本剰余金	420,000	資本剰余金	220,000
利益剰余金	630,000	利益剰余金	186,000
<b>純資産合計</b>	<b>1,650,000</b>	<b>純資産合計</b>	<b>656,000</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>2,761,000</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,735,000</b>

(3)S社の資産・負債の帳簿価額は時価と等しい。

また、P社とS社の当期(×1年4月1日から×2年3月31日まで)の財務諸表は以下のとおりである。

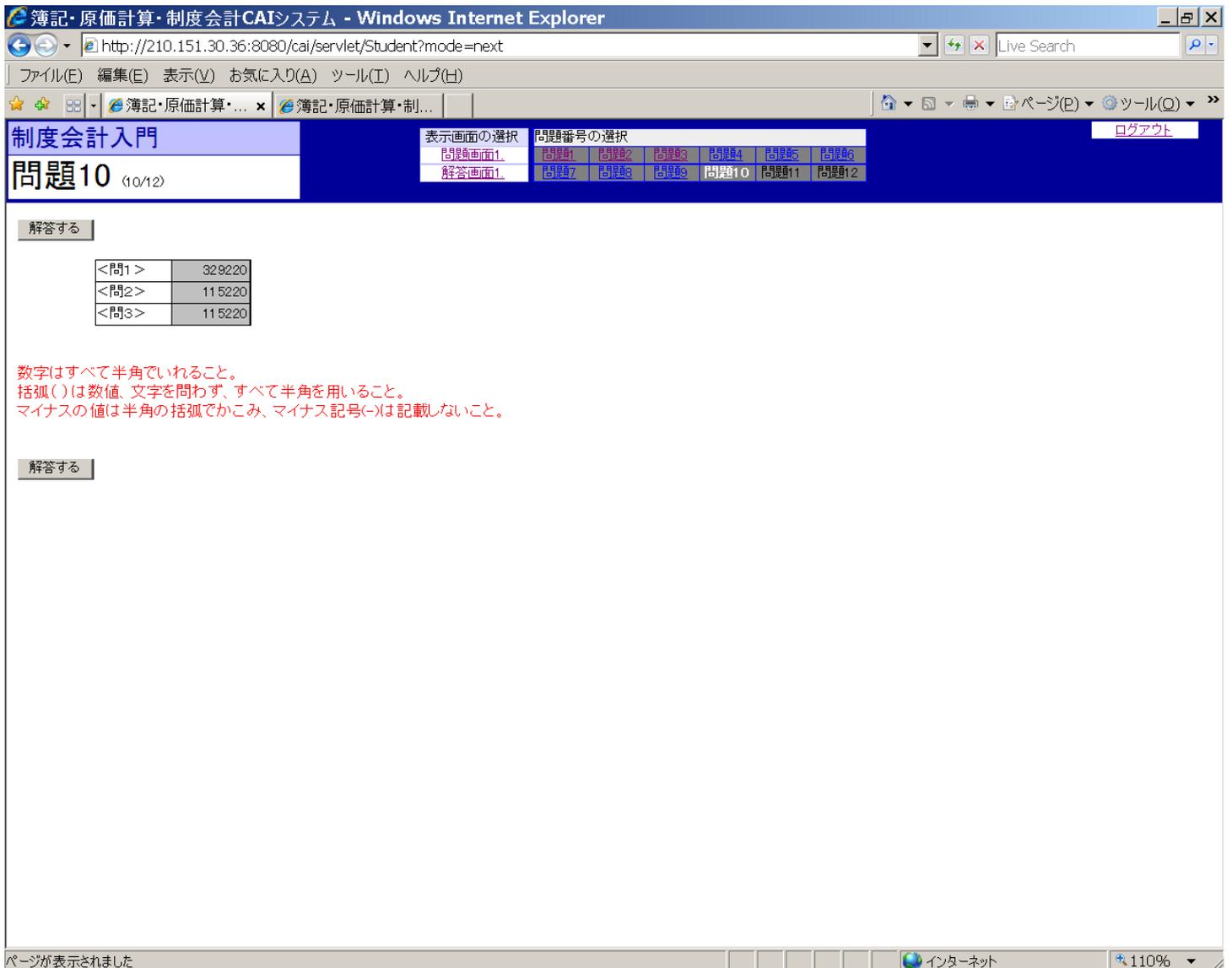
(1)貸借対照表

P社 貸借対照表 ×2年3月31日		S社 貸借対照表 ×2年3月31日	
資産		資産	
現金預金	72,000	現金預金	64,000
売掛金	408,000	売掛金	419,000
棚卸資産	310,000	棚卸資産	230,000

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.20 問題 10 解答画面



簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

制度会計入門

問題10 (10/12)

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1. 問題2. 問題3. 問題4. 問題5. 問題6.  
 解答画面1. 問題7. 問題8. 問題9. 問題10. 問題11. 問題12

ログアウト

解答する

<問1>	32 9220
<問2>	11 5220
<問3>	11 5220

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.21 問題 11 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

Live Search

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

ログアウト

### 制度会計入門

## 問題11 (11/12)

問題11  
 A社は、×1年4月1日にB社を吸収合併した。この取引についてのデータは以下のとおりである。(単位:千円)

(1)合併直前の貸借対照表(単位:千円)

A社 貸借対照表		B社 貸借対照表	
資産		資産	
現金預金	73,000	現金預金	60,000
売掛金	412,000	売掛金	360,000
棚卸資産	308,000	棚卸資産	235,000
固定資産	1,925,000	固定資産	1,080,000
資産合計	2,718,000	資産合計	1,735,000
負債		負債	
買掛金	569,000	買掛金	624,200
社債	500,000	社債	460,000
負債合計	1,069,000	負債合計	1,084,200
純資産		純資産	
資本金	600,000	資本金	250,000
資本準備金	420,000	資本準備金	220,000
利益準備金	629,000	利益準備金	180,800
純資産合計	1,649,000	純資産合計	650,800
負債・純資産合計	2,718,000	負債・純資産合計	1,735,000

(2)合併比率  
 B社株式1株に対し、A社株式08株を交付。なお、A社株式の時価は169,000円であった。また、A社もB社も1株あたり50,000円を資本金としている。

(3)B社の資産・負債について  
 B社の固定資産には土地が含まれており、その帳簿価額は240,000千円、時価は256,000千円であった。その他の資産・負債については帳簿価額と時価が等しい。

以上のデータにしたがって、つぎの問いに答えなさい。

<問>  
 バーチェス法により合併後の貸借対照表を作成しなさい。

ページが表示されました

インターネット 110%

5.22 問題 11 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

Live Search

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択 ログアウト

問題画面1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

制度会計入門

問題11 (11/12)

解答する

A社 貸借対照表	
資産	
現金預金	133000
売掛金	772000
棚卸資産	543000
固定資産	3021000
のれん	9200
資産合計	4478200
負債	
買掛金	1193200
社債	960000
負債合計	2153200
純資産	
資本金	800000
資本剰余金	896000
利益剰余金	629000
純資産合計	2325000
負債・純資産合計	4478200

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧()は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

ページが表示されました

インターネット 110%

## 5.23 問題 12 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

表示画面の選択 問題番号の選択 ログアウト

問題画面1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

### 制度会計入門

## 問題12 (12/12)

問題12  
 P社の全額出資子会社であるS社はアメリカにあり、取引はすべてUSDルで行なわれている。以下のデータにもとづいて、当期末における円換算財務諸表を作成しなさい。なお、負数を入力する必要がある場合には、半角のマイナス記号を使うこと。(単位:百万USDル)

(1)当期末におけるS社の損益計算書と貸借対照表。

S社 損益計算書		S社 貸借対照表	
売上高	400	現金預金	40
売上原価	350	売掛金	60
売上総利益	50	棚卸資産	74
減価償却費	20	固定資産	150
その他の費用	25	資産合計	324
当期純利益	5	負債	
		買掛金	165
		社債	50
		負債合計	215
		純資産	
		資本金	100
		利益剰余金	9
		純資産合計	109
		負債・純資産合計	324

(2)為替レート(単位:円/USDル)

出資時のレート	100
決算時のレート	84
期中平均レート	85
利益処分確定時のレート	102

(3)換算方法  
 カレント・レート法による。なお、収益・費用については期中平均レートによって換算する。

ページが表示されました

インターネット 110%

5.24 問題 12 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=next

簿記・原価計算・... x 簿記・原価計算・制...

制度会計入門

問題12 (12/12)

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6  
 解答画面1 問題7 問題8 問題9 問題10 問題11 問題12

ログアウト

解答する

S社 損益計算書		S社 貸借対照表	
売上高	38000	資産	
売上原価	33250	現金預金	3360
売上総利益	4750	売掛金	5040
減価償却費	1900	棚卸資産	6216
その他の費用	2375	固定資産	12600
当期純利益	475	資産合計	27216
S社 株主資本等変動計算書(利益剰余金の変動)		負債	
期首残高	600	買掛金	13860
剰余金の配当	204	社債	4200
当期純利益	475	負債合計	18060
期末残高	871	純資産	
		資本金	10000
		利益剰余金	871
		為替換算調整勘定	(1715)
		純資産合計	9156
		負債・純資産合計	27216

数字はすべて半角でいれること。  
 括弧( )は数値、文字を問わず、すべて半角を用いること。  
 マイナスの値は半角の括弧でかこみ、マイナス記号(-)は記載しないこと。

解答する

ページが表示されました

インターネット 110%

## 6. 管理会計

### 6.1 問題 1 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait&problem=1

管理会計論

問題1 (1/6)

表示画面の選択  
 問題画面1. 問題1. 問題2. 問題3.  
 解答画面1. 問題4. 問題5. 問題6.

問題1 CVP分析

以下の各問に答えなさい。

問1  
 次の条件で、損益分岐営業量を求めなさい。

販売単価(円/個)	470
単位変動費(円/個)	300
固定費(円)	595,000

問2  
 次の条件で、損益分岐点売上高を求めなさい。

販売単価(円/個)	120
変動費率(%)	70%
固定費(円)	118,800

問3  
 次の資料を基に、各問に答えなさい。  
 なお、それぞれの問題は独立している。

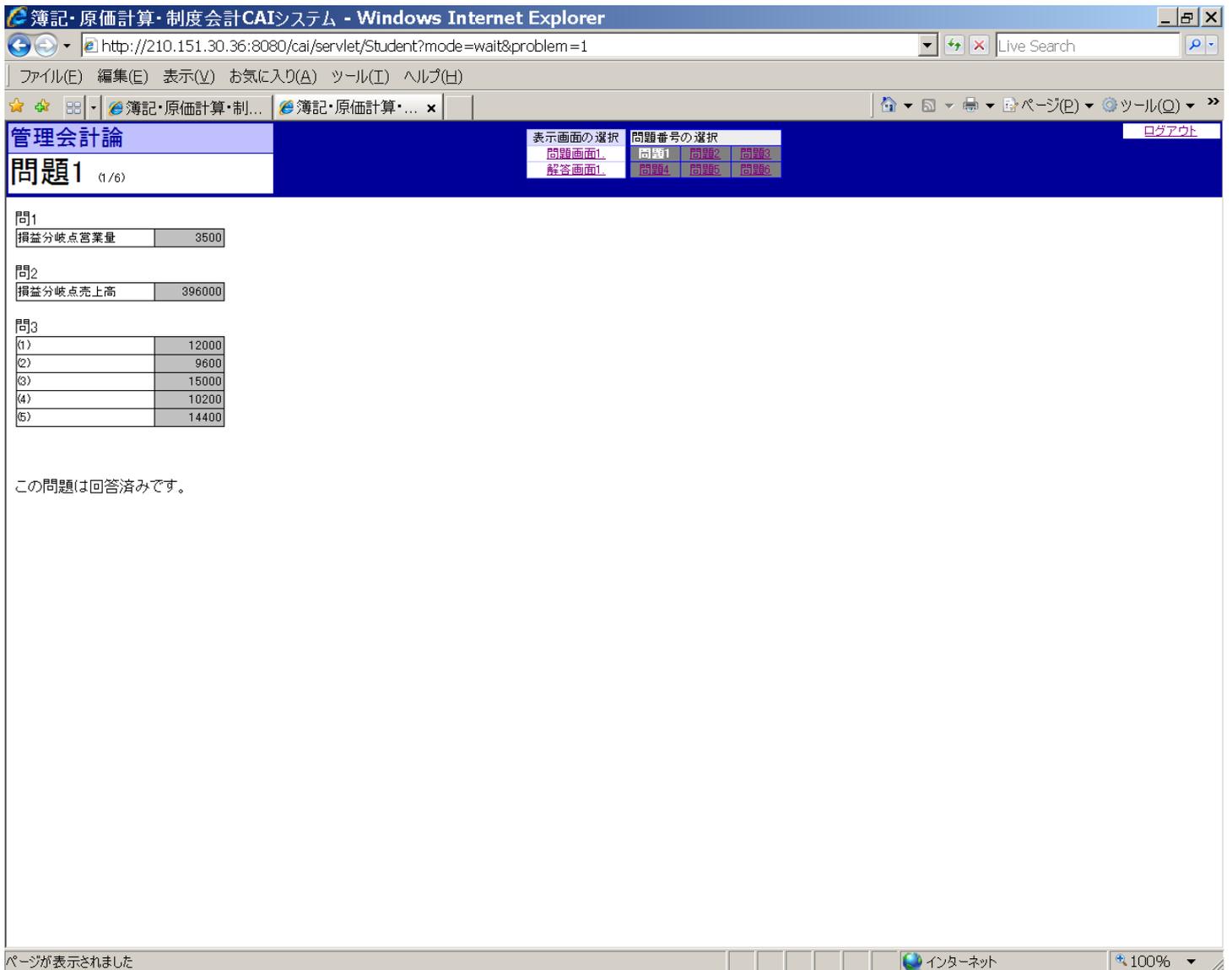
基本条件

販売単価(円/個)	3,180
直接材料単価(円/kg)	300
材料単位消費量(kg/個)	5
賃率(円/時)	160
単位作業時間(時/個)	3
固定費(円)	14,400,000

(1) 損益分岐点営業量を求めなさい。  
 (2) 材料の消費量が製品1個あたり1kg減少した場合の損益分岐点営業量を求めなさい。  
 (3) 販売単価が240円減少した場合の損益分岐点営業量を求めなさい。  
 (4) 固定費が15%減少した場合の損益分岐点営業量を求めなさい。  
 (5) 目標利益 2,880,000円を達成する営業量を求めなさい。

インターネット 100%

## 6.2 問題 1 解答画面



簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait&problem=1

管理会計論

問題1 (1/6)

表示画面の選択  
 問題画面1. 問題2. 問題3.  
 解答画面1. 問題4. 問題5. 問題6.

ログアウト

問1  
 損益分岐点営業量 3500

問2  
 損益分岐点売上高 396000

問3

(1)	12000
(2)	9600
(3)	15000
(4)	10200
(5)	14400

この問題は回答済みです。

ページが表示されました

インターネット 100%

### 6.3 問題 2 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait&problem=2

管理会計論 問題2 (2/6)

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題2 問題3  
 解答画面1 問題4 問題5 問題6

問題2 予算管理

当社では、予算を作成している。  
 現在のところ予測されている収益と原価のデータは次の通りである。

販売単価(円/個)	706	販売予定量(個)	55,000
-----------	-----	----------	--------

変動費予算データ

直接材料単価(円/kg)	80	直接工賃率(円/時)	50
単位当たり消費量(kg/個)	5	単位当たり作業時間(時/個)	2
単位当たり直接材料費(円/個)	400	単位当たり直接労務費(円/個)	100

直接材料は、工程の始点ですべて投入されている。

変動間接労務費配賦率(円/時)	?	動力費配賦率(円/時)	2
単位当たり配賦基準量(時/個)	3	単位当たり配賦基準量(時/個)	3
単位当たり変動間接労務費予算(円/個)	?	単位当たり動力費(円/個)	6

変動販売費予算(円/個)	30
--------------	----

固定費予算データ(単位:円)

減価償却費	3,014,500
動力費	1,040,000
間接労務費	?
固定販売費	1,040,000
一般管理費	140,000
合計	?

間接労務費については、直接作業時間を変数として固定費部分と変動費部分とに分解する。  
 過去6年間の実績に基づいて、高低点法によって分解する。

	20*1年	20*2年	20*3年	20*4年	20*5年	20*6年
直接作業時間	32,400	46,800	37,600	32,800	35,200	49,600
間接労務費(円)	1,164,000	1,380,000	1,242,000	1,170,000	1,206,000	1,422,000

期首・期末に完成品の在庫はないと仮定する。

問1  
 間接労務費を、変動費と固定費とに分解しなさい。

問2  
 直接原価計算方式で損益計算書を作成しなさい。  
 売上原価は、当期設定した予算単価によって計算すること。

## 6.4 問題 2 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait&problem=2

管理会計論

問題2 (2/6)

表示画面の選択: 問題画面1, 問題画面2, 問題画面3, 問題画面4, 問題画面5, 問題画面6, 解答画面1

問題番号の選択: 問題1, 問題2, 問題3, 問題4, 問題5, 問題6

ログアウト

問1

変動費(円/時)	15
固定費(円)	678000

問2

売上高	38830000
売上原価	30305000
変動販売費	1650000
貢献利益	6875000
固定製造間接費	4732500
固定販売費	1040000
一般管理費	140000
営業利益	962500

問3

損益分岐点営業量	47300
----------	-------

問4

安全余裕率	14%
-------	-----

問5

直接材料費差異	
総差異	300
数量差異	(5600)
価格差異	5900
直接労務費差異	
総差異	(100)
作業時間差異	4000
賃率差異	(4100)
変動製造間接費差異	
総差異	30
能率差異	1360
予算差異	(1330)

この問題は回答済みです。

ページが表示されました

インターネット 100%

## 6.5 問題3 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait&problem=3

管理会計論

問題3 (3/6)

表示画面の選択  
 問題画面1L 問題1 問題2 問題3  
 解答画面1L 問題4 問題5 問題6

問題3 事業部業績の測定

当社は、X、Y、Zの三つの事業部を擁する。  
 財務データは次の通りである。なお、税金は考慮に入れない。

(単位:円)

	事業部X	事業部Y	事業部Z
売上高	4,400,000	4,100,000	4,800,000
変動費率	40%	34%	43%
管理可能個別費	1,248,000	1,842,800	1,677,600
管理不能個別費	417,600	258,960	317,520
共通固定費	1,159,760		
管理可能投資額	6,960,000	6,640,000	5,880,000

また、資本コストは、加重平均資本コストを使用する。  
 そのデータは次の通りである。これは各事業部ともに共通である。

	コスト	構成比
借入金	7%	50%
留保利益	2%	30%
株式	5%	20%

問1  
 各事業部の貢献利益(売上高から変動費を差し引いたもの)、管理可能利益、セグメント貢献利益および全社の営業利益を求めなさい。

問2  
 各事業部の管理可能ROIを求めなさい。

問3  
 各事業部の管理可能RIを求めなさい。

ページが表示されました

インターネット 100%

## 6.6 問題3 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait&problem=3

管理会計論

問題3 (3/6)

表示画面の選択  
 問題画面1. 問題2. 問題3. 問題4. 問題5. 問題6.  
 解答画面1.

問題番号の選択  
 問題1. 問題2. 問題3. 問題4. 問題5. 問題6.

ログアウト

問1

	事業部X	事業部Y	事業部Z
貢献利益	2640000	2706000	2736000
管理可能利益	1392000	863200	1058400
セグメント貢献利益	974400	604240	740880
営業利益(全社)	1159760		

問2

	事業部X	事業部Y	事業部Z
管理可能ROI	20%	13%	18%

問3

	事業部X	事業部Y	事業部Z
管理可能RI	1037040	524560	758520

この問題は回答済みです。

ページが表示されました

インターネット 100%

## 6.7 問題 4 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait&problem=4

管理会計論

問題4 (4/6)

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題2 問題3  
 解答画面1 問題4 問題5 問題6

ログアウト

**問題4 時間価値の計算**

次の問に答えなさい。なお、必要な係数は、下の係数表の数値を用いること。

問1  
 年利7%の複利の預金に110,000円を預金すると、5年後にはいくらもらえることができるか。  
 なお、終価係数(複利元利率)は小数点以下第4位まで求めた値を使うこと。

問2  
 利率が今後とも5%と予測される場合、3年後にもらう400,000円は現時点ではいくらの価値があるか。

問3  
 10年間、毎年末に受け取る2,100,000円は現在いくらもらえるのと同じ価値があるか。  
 なお、利率は今後2%と考えられる。

問4  
 次の2案の現在価値を計算せよ。AとBどちらがいくら有利か。  
 A:7年間、毎年末200,000円を受け取り、年利3%の預金に預入。  
 B:現時点で1,244,060円を受け取る。

問5  
 今、土地の売却を検討している。次の2つの支払方法の申し出がある。どちらの申し出が自分にとっていくら有利か。  
 各方法の現在価値を計算せよ。なお、今後の利率は6%と予想する。  
 A:4年間、毎年末に600,000円を支払う。  
 B:今年末に900,000円を、来年末に750,000円を、再来年末に650,000円を支払う。

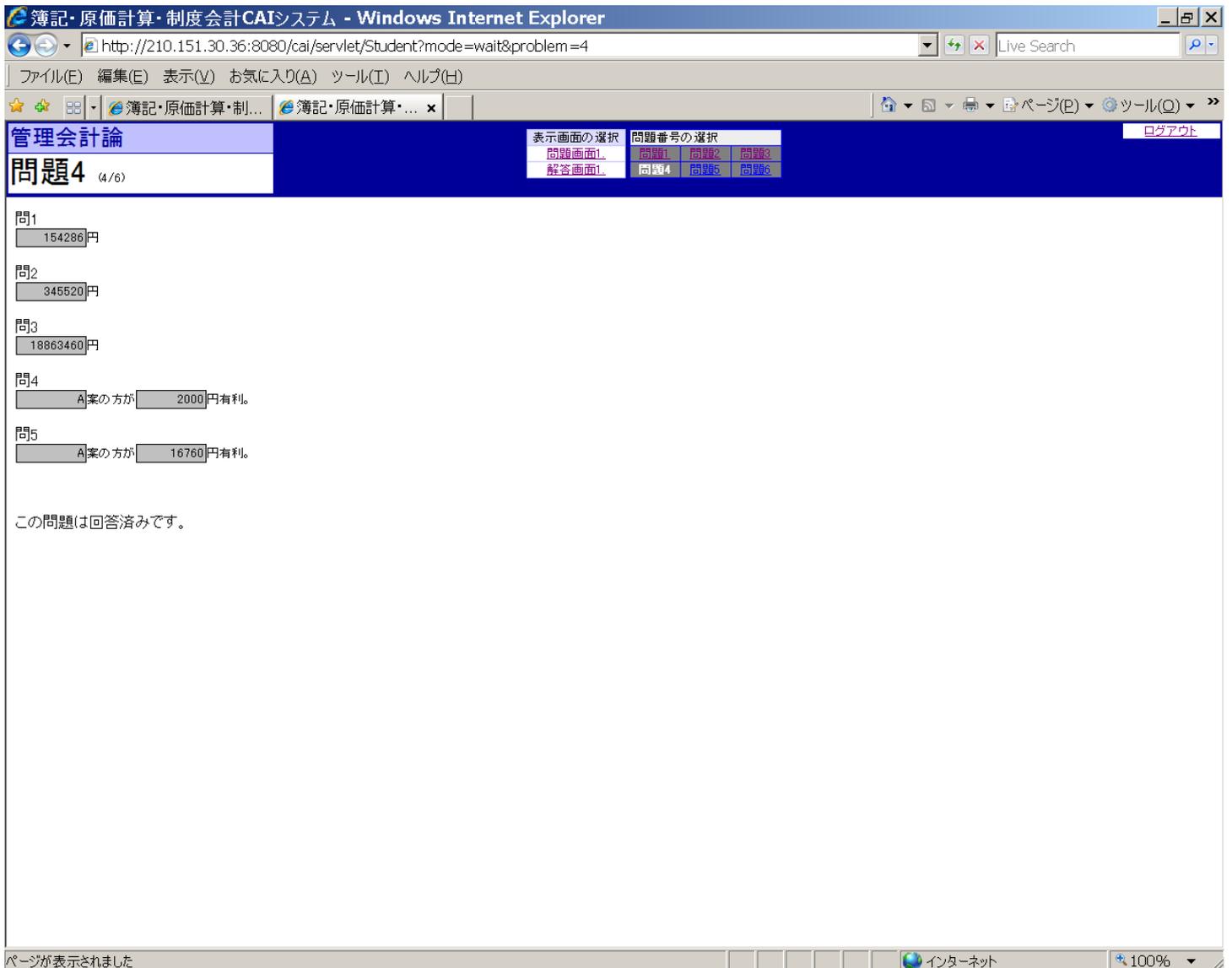
現価係数表

	r=1%	2	3	4	5	6	7	8	9	10
n=1年	0.9901	0.9804	0.9709	0.9615	0.9524	0.9434	0.9346	0.9259	0.9174	0.9091
2	0.9803	0.9612	0.9426	0.9246	0.907	0.89	0.8734	0.8573	0.8417	0.8264
3	0.9706	0.9423	0.9151	0.889	0.8638	0.8396	0.8163	0.7938	0.7722	0.7513
4	0.961	0.9238	0.8885	0.8548	0.8227	0.7921	0.7629	0.735	0.7084	0.683
5	0.9515	0.9057	0.8626	0.8219	0.7835	0.7473	0.713	0.6806	0.6499	0.6209
6	0.942	0.888	0.8375	0.7903	0.7462	0.705	0.6663	0.6302	0.5963	0.5645
7	0.9327	0.8706	0.8131	0.7599	0.7107	0.6651	0.6227	0.5835	0.547	0.5132
8	0.9235	0.8535	0.7894	0.7307	0.6768	0.6274	0.582	0.5403	0.5019	0.4665
9	0.9143	0.8368	0.7664	0.7026	0.6446	0.5919	0.5439	0.5002	0.4604	0.4241
10	0.9053	0.8203	0.7441	0.6756	0.6139	0.5584	0.5083	0.4632	0.4224	0.3855

ページが表示されました

インターネット 100%

## 6.8 問題 4 解答画面



簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait&problem=4

管理会計論

問題4 (4/6)

表示画面の選択  
 問題画面1. 問題2. 問題3.  
 解答画面1. 問題4. 問題5. 問題6.

ログアウト

問1  
円

問2  
円

問3  
円

問4  
 円有利。

問5  
 円有利。

この問題は回答済みです。

ページが表示されました

インターネット 100%

## 6.9 問題 5 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait&problem=5

管理会計論

問題5 (5/6)

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題1 問題2 問題3  
 解答画面1 問題4 問題5 問題6

ログアウト

問題5 設備投資意思決定

X社は、現在、新製品製造の設備投資の意思決定を行う必要に迫られている。以下のデータをもとに、下記の問に答えよ。

問1  
この設備投資による設備投資プロジェクトの各年のキャッシュ・フローを計算しなさい。

問2  
この設備投資の正味現在価値を計算しなさい。

(データ)

(1)投資対象の設備の耐用年数は10年である。

取得原価(円)	50,000,000
---------	------------

(2)販売の見通し

	1年目~6年目	7・8年目	9年目	10年目
単価(円/個)	450	400	380	350
販売量(個)	90,000	87,000	83,000	78,000

(3)製造に要する現金支出原価

変動費(円/個)	200
固定費(円/年間)	2,500,000

このデータは毎年変わらないものとする。また、製品の製造量と販売量は同じと仮定する。

(4)投資以後、運転資本として、状況変化に備えて投資期間中は予備の現金を200万円保有することが必要である。

(5)減価償却は定額法による。  
残存価額は取得原価の10%

10年後の設備売却価額予測	3,000,000
---------------	-----------

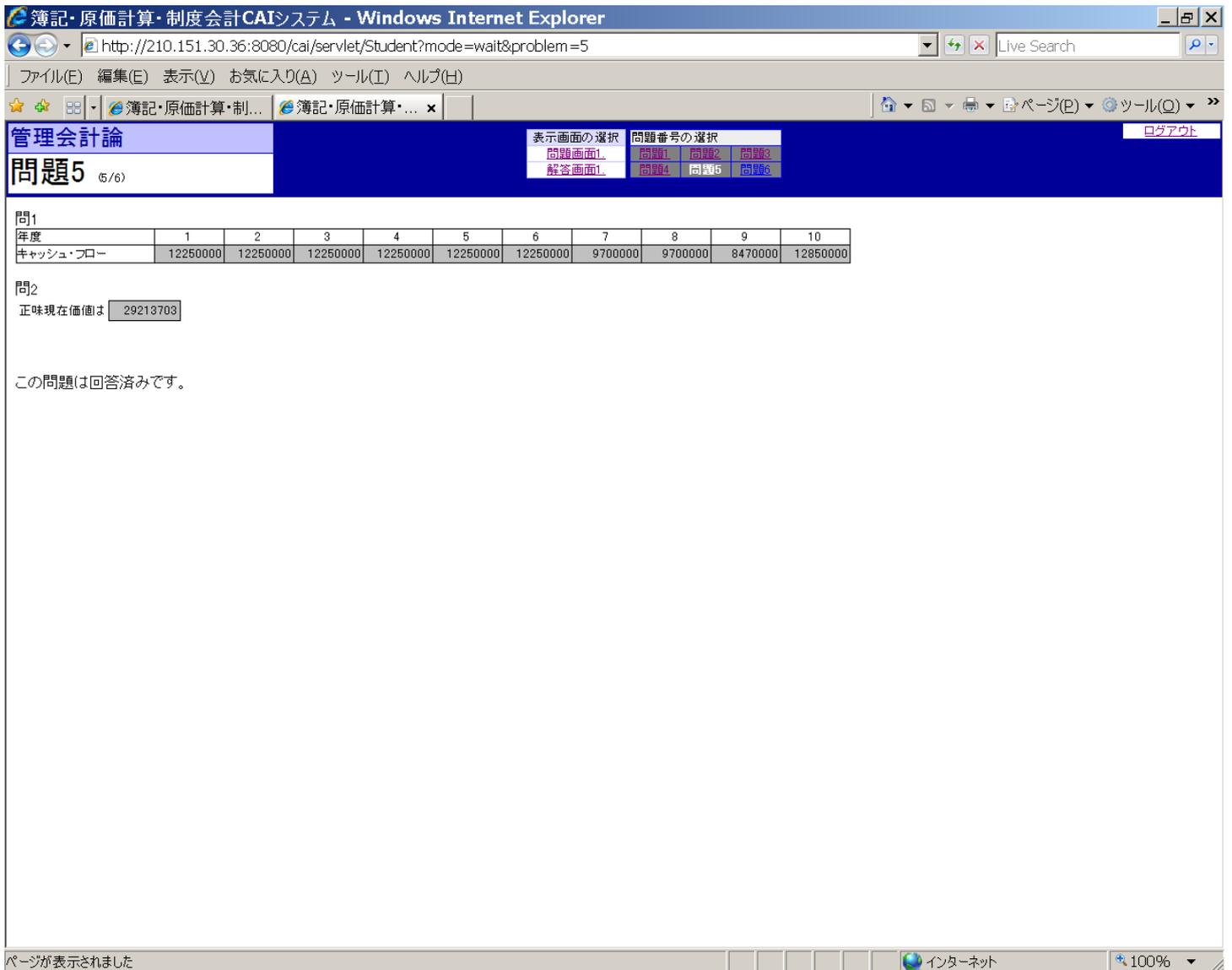
(6)法人税等の税率は50%である。

(7)X社では投資意思決定には全社一律の加重平均資本コスト7%を適用することとしている。  
なお、割引率7%における6年の年金現価係数は4.7665を、7年目以降の現価係数は、0.6227, 0.582, 0.5439, 0.5083を用いること。

ページが表示されました

インターネット 100%

## 6.10 問題 5 解答画面



簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait&problem=5

簿記・原価計算・制... 簿記・原価計算・... x

管理会計論

問題5 (5/6)

表示画面の選択 問題番号の選択

問題画面1 問題2 問題3  
 解答画面1 問題4 問題5 問題6

ログアウト

問1

年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
キャッシュ・フロー	12250000	12250000	12250000	12250000	12250000	12250000	9700000	9700000	8470000	12850000

問2

正味現在価値は

この問題は回答済みです。

ページが表示されました

インターネット 100%

## 6.11 問題 6 問題画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait&problem=6

管理会計論

問題6 (6/6)

表示画面の選択  
 問題画面1 問題2 問題3  
 解答画面1 問題4 問題5 問題6

問題6 ABC(活動基準原価計算)

NH製造会社は、PC用のケーブルとして3種類の製品を製造している。製品Aは汎用ケーブル、製品Bは標準ケーブル、製品Cは上級者用の仕様を搭載した特殊ケーブルである。製品A、B、Cの生産量、販売価格、販売量、基本的な原価に関するデータ及び標準価格は表1に示されている。

表1

項目	製品A	製品B	製品C	合計
生産				
生産量(個)	10,000	40,000	5,000	
生産回数	2	48	100	
船積量(個)	10,000	40,000	5,000	
船舶数	1	8	5	
予想販売価格(円/個)	109.64	126.80	91.32	
直接材料費標準				
標準消費量(kg/個)	7	10	10	
標準単価(円/kg)	5	4	1	
原価標準(円/個)	35	40	10	
労務費				
直接労務費				
標準賃率(円/時)	20	20	20	
標準生産時間(時/個)	0.4	0.5	0.2	
原価標準(円/個)	8	10	4	
間接労務費				
段取時間(時/回)	10	10	10	
機械				
機械加工費配賦率(円/時)	40	40	40	
機械加工時間(時/個)	0.1	0.35	1	
その他間接費				
検収費(円)				760,000
包装費(円)				700,000
技術作業費(円)				500,000

\*段取作業は、すべて間接作業として直接工が行っている。

伝統的な製品原価は次のように計算される。  
 (1)製品個々に標準直接材料費を直課する。(購入要素合計量×標準価格)  
 (2)製品個々に標準直接労務費を直課する。(標準労働時間/製品×標準賃率)  
 (3)製造間接費は、2段階の配賦方式に基づいて製品に配賦する。

\*第一段階  
 間接部門費を、ある“適切な”活動基準によって製造部門に配賦する。  
 この結果、全ての製造間接費が製造部門に配賦される。

\*第二段階

ページが表示されました

インターネット 100%

## 6.12 問題 6 解答画面

簿記・原価計算・制度会計CAIシステム - Windows Internet Explorer

http://210.151.30.36:8080/cai/servlet/Student?mode=wait&problem=6

管理会計論 問題6 (6/6)

表示画面の選択: 問題画面1, 問題2, 問題3, 問題4, 問題5, 問題6  
 解答画面1, 問題4, 問題5, 問題6

解答する

問1

間接労務費(段取)	30000
検取費	760000
機械加工費	800000
包装費	700000
技術作業費	500000
合計	2790000

問2

配賦率	5.58
-----	------

問3

<製品単位当たり>	製品A	製品B	製品C
直接材料費	35.00	40.00	10.00
直接労務費	8.00	10.00	4.00
製造間接費	44.64	55.80	22.32
合計	87.64	105.80	36.32

問4

<製品単位当たり>	製品A	製品B	製品C
直接材料費	35.00	40.00	10.00
直接労務費	8.00	10.00	4.00
間接材料費(検取費)	13.30	15.20	3.80
間接労務費(段取費)	0.04	0.24	4.00
製造間接費	10.00	35.00	100.00
合計	66.34	100.44	121.80

問5

<製品単位当たり>	製品A	製品B	製品C
直接材料費	35.00	40.00	10.00
直接労務費	8.00	10.00	4.00
間接材料費(検取費)	4.00	8.00	80.00
間接労務費(段取)	0.04	0.24	4.00
機械加工費	4.00	14.00	40.00
包装費	5.00	10.00	50.00
技術作業費	10.00	5.00	40.00
合計	66.04	87.24	228.00

問6

製品Bの原価計算終了

ページが表示されました

インターネット 100%